

令和3年度使用中学校用教科用図書

調査資料

第2-1 採択地区教科用図書採択協議会

目次

教科	発行者略称	ページ数
国語	東書	1
	三省堂	2
	教出	3
	光村	4
書写	東書	5
	三省堂	6
	教出	7
	光村	8
社会 (地理)	東書	9
	教出	10
	帝国	11
	日文	12
社会 (歴史)	東書	13
	教出	14
	帝国	15
	山川	16
	日文	17
	育鵬社	18
	学び舎	—
社会 (公民)	東書	19
	教出	20
	帝国	21
	日文	22
	自由社	23
	育鵬社	24
地図	東書	25
	帝国	26
数学	東書	27
	大日本	28
	学図	29
	教出	30
	啓林館	31
	数研	32
	日文	33

教科	発行者略称	ページ数
理科	東書	34
	大日本	35
	学図	36
	教出	37
	啓林館	38
音楽 (一般)	教出	39
	教芸	40
音楽 (器楽)	教出	41
	教芸	42
美術	開隆堂	43
	光村	44
	日文	45
保健 体育	東書	46
	大日本	47
	大修館	48
	学研	49
技術	東書	50
	教図	51
	開隆堂	52
家庭	東書	53
	教図	54
	開隆堂	55
外国語	東書	56
	開隆堂	57
	三省堂	58
	教出	59
	光村	60
	啓林館	61
道徳	東書	62
	教出	63
	光村	64
	日文	65
	学研	66
	廣あかつき	67
	日科	68

国語科（国語）調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい国語	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文法の窓」はクイズ形式になっているため、知識の習得意欲を喚起している。また、巻末の「文法解説」で基礎基本を身につけられるように工夫されている。 ・各教材の「言葉の力」は、それぞれに身につけるべき資質・能力を簡潔に示している。 ・「日本語探検」では、キャラクターによる物語風の説明で、楽しく知識を習得できる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材が、「目標→発問・課題→言葉の力→振り返り」になっているため、思考力・判断力・表現力それぞれを育成しやすい構成になっている。 ・言語活動の学習については、他教科や日常生活に生かせる教材が多く採用されている。 ・創作活動については、初期段階から完成までの作品の変化が丁寧に扱われている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して、統一したキャラクターが話を進めていくので、同学年の友達からの提案や助言のような感じで、興味を持って学習することができる。 ・「学びの扉」という漫画によって、学ぶことの意識づけがしやすい構成になっている。 ・生徒が実体験と結びつけやすい教材構成のため、「何をどう学ぶのか」がわかりやすい。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間で350冊以上の本が紹介されているため、生徒の多様な興味関心に対応している。 ・年間3回の「読書教材」があり、テーマ別であったり、名作であったり、種類が豊富。 ・文学作品の説明が丁寧であるため、生徒の読書に対する意欲を十分喚起している。 ・後半に豊富な資料があることで、興味関心をもった生徒が自ら進んで本を選択できる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料編で学んだことを振り返ったり、理解を深めたり、発展的・補足的な学習ができる。 ・教科書全般にわたり、統一したタッチの挿絵で親しみやすい。 ・文学的文章、説明的文章とも、文章（文脈）を補う資料提示がふんだんにある。 ・全体的に、タイトルが「探検」「道場」など親しみやすい。また、マンガなどを用いて興味を惹いている。さらに、色使いの工夫や図の効用で学ぶ重点が明確になっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・古典教材において、原文と現代語訳で色分けをしており学習しやすい。色合いもほどよい。 ・「漢字道場」で、「他教科で学ぶ漢字」の特集があり、全教科の基礎となるべき国語学習の役割について明示されているため、教科横断型学習の要素が十分含まれている。 ・何よりも活字が大きくて読みやすい教科書になっている。色使いの妙味も感じる。 ・各教材のはじめに、「問題提起」をすることで、生徒に考えさせる余地が残されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・「本編」、「基礎編」、「資料編」の三部構成となっているため、学びの方向性が明確である。 ・各教材の入り口がマンガなので、生徒にとって教材に親しみやすい教科書になっている。 ・「言語」について丁寧にまとめられており、言語に関する力を伸ばせる内容になっている。 ・明るく、楽しく学習を進めることができそうな内容、構成、つくりになっている。 	

国語科（国語）調査資料研究調査報告書

書名 項目	現代の国語	15 三省堂
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期毎に「文法の窓」が入り、忘れないうちに復習から次へのステップがとりやすい。 ・教材毎に「語彙を豊かに」があり、心情や様子などを表す多様な言葉を知ることができる。 ・「情報を関係づける」があり、「情報」に特化した単元があり、学年毎に適切なテーマの設定がなされている。また、資料を読むポイントが明確に示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材毎の「思考の方法」で「比較する」「分類する」「関連づける」「抽象化する」等があり、巻末の参考資料で一覧になっているので、3年間を見通し、継続した学習に有効。 ・スピーチ、ディスカッション、案内文、レポート、フリップ、手紙、壁新聞等、他教科の学習や自らの意見を発表する際の基礎となりうるアドバイスが多く記述されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例が豊富な点や、情報探しの方法が丁寧に書かれているため、自主的な学習につながる。 ・全学年第一単元の中で「グループディスカッション」を設け、「クラスの全員で学ぶ」という学習意欲を高められる教材配置になっている。 ・単元毎に「目標」「振り返り」「ポイント」等が明確に記されているので、学びやすい。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家の読書体験の紹介や各学年の「読書活動」で、ブッククラブやビブリオバトル、ブックトークの紹介等で読書への興味を巧みに喚起している。 ・「読み方を学ぼう」で、文章を読み解く力を向上させ、深い読みができるようになる構成になっている。また、日本文学史を年表にまとめ、優れた読書案内となっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「参考資料」は3つの学年共通の部分が多く、復習や確認などをする際に有効。 ・巻末の「学習用語辞典」が用語の羅列ではなく、説明が丁寧なため学習が深まる。 ・本の紹介や、古典の折り込み資料など、カラーを使っていて実物がはっきりとわかる。 ・文学的文章、説明的文章共に、文章（文脈）を補う資料提示が豊富である。 ・読み方、話し合い方、考え方など、「学び方」がわかり、自立を促す内容になっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「読み物教材」は文字が大きく表記されているため、読みやすい。 ・教材で取り上げる話題が、学年が上がるにしたがって、学校生活や身の回りの日常生活から社会生活へと広がるように、発達段階に応じた内容になっている。 ・漢字の学習では、画数や点画の方向等の間違いが生じないよう独自の書体で書かれている。 ・読み応えのある作品が多い。また、読み方などの方法提示も丁寧で学びやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習の流れがいつでも確認できる工夫（巻末折り込みなど）が十分である。 ・図解が多く提示されているため、学習内容を視覚的に捉えられるような工夫がある。 ・文章をどのように読み解くのかの示唆が具体的であるため、読解力向上に結びつく。 ・社会に出て必要とされるあらゆる力を身につけられる内容構成になっている。 	

国語科（国語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	伝え合う言葉 中学国語	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに「文法の小窓」が入り、簡単な復習から次へのステップがとりやすい。 ・教材「学びのチャレンジ」によって、資料を読み取る力が身につけられる。 ・「この教材で学ぶ言葉」が明示されていて、語彙力の定着が目指せる。 ・「文法」の学習に関して、簡潔にまとめられている点や適切な問題数により学びやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」で学習に入る前にその教材の目標や重点を示し、課題解決の方法に関するアドバイスなどが提示されているので、思考力や想像力を高める補助となる。 ・言葉のもつ虚構性、目の前にある情報の危うさに着目し、その情報の読み方や受け止め方、意見の持ち方という観点で示唆を与えることで、思考力・判断力を伸ばせる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」で学習に入る前にその教材の目標や重点を示し、課題解決の方法に関するアドバイスなどが提示されるので、「学びに向かうかまえ」ができる。 ・写真資料が多く、各界の著名人が著した文章も多いので、学ぶ意欲を引き出している。 ・AIなど現代社会の問題に目を向け、テーマ「SDGs」が貫かれた教科書である。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元後に単元のテーマに関する他の書籍を紹介しているので、興味を喚起している。 ・「広がる本の世界」や「読書への招待」など、本を読ませようとする工夫がみられる。 ・1年で本の帯やポップ作り、2年で読書レポート、3年でビブリオバトルや読書記録に取り組み、生涯にわたる読書活動の充実を目指せる内容となっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのチャレンジ」という、自分の力で挑戦し、問題に取り組むページがある。 ・説明文教材に関しては、カラー写真が多く、その実際を想像しやすくなっている。 ・折り込み資料が少なく、すっきりしている。 ・「まなびリンク」というQRコードを用いた資料があり、学びの充実につながる。 ・1年間で学ぶ内容をSDGsの視点との関わりがわかるように示されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学習に必要な用語」は、3年間で学ぶ大切な言葉として取り上げられている。 ・発達段階に見合った、文章構成・量・テーマが設定されている。 ・各単元の順番も学年ごとの流れがあり、その構成は学年の状況に合っている。 ・漢字の画数や筆順が、正確に理解できるように配慮した書体が使用されている。 ・小学校6年生で学ぶ学習漢字の筆順と用例をまとめている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主体的に学習することができる構成と内容である。 ・教師の使い方や展開の方法次第で、学習が深まる教科書である。 ・現代社会を鋭く見直す視点がある分、新しい話題が多く、学びやすい構成になっている。 ・情報量が豊富なため、一冊で多くの知識を得ることができる。 	

国語科（国語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	国語	38 光村
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報社会を生きる」では情報の集め方からその情報をどう活かしていくかなど、3年間を見通した系統立てた学習ができるため、知識と技能の定着を確実に図れる内容である。 ・「学習の窓」では、知識・技能の習得のためのポイントが明確に示されている。 ・3年生巻末の「文法のまとめ」は、3年間の文法学習の流れが一目瞭然。復習に最適。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む・話す・書く・聞く・調べる」。どの教材も3年間を見通した構成と内容になっているため、発達段階に応じた「思考力・判断力・表現力」を育成することができる。 ・「思考の地図」で、広げる→整理する→深めるという方法が視覚化されているため、聞き取りや話し合いの授業を通して、思考力・判断力・表現力を確実に育てることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動する教材が多いので、「主体的・対話的で深い学び」を追求しやすい。 ・「学習の見通しをもとう」では、教材毎にどんな力を身につけるために設定されているかが明確に示されているので、目標をもって学習に取り組みやすい。 ・1学期にも「古典学習」が学べるなど、教材配置の工夫により学ぶ意欲が高まる。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書生活を豊かに」で、発達段階に応じた読書活動の進め方を明確に示している。 ・「読書への誘い」では、あえて本の一部のみを紹介している。また、著名人によるコラムにより、必然的に文章の続きが読みたくなる工夫が施されている。 ・図書紹介（全277冊）が全都道府県の推薦図書が基本なので、中学生にふさわしい。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある「漢字・文法・言語・文学史・古典」などの資料は見やすく、活用しやすい。 ・各教材とも、グラフ・図・写真が豊富なので、学習を深めることを助ける働きをしている。 ・挿絵の中学生が話す内容がヒントになり、学習目標達成に向けての思考を助けてくれる。また、その挿絵がとてもシンプルで、生徒の集中を乱さない挿絵になっている。 ・見開きページによって、教材に関する資料や学ぶ項目が一覧でき、活用しやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントや要点などの部分を、イラストや人物が語りかける工夫がなされており、情報をまとめる際の大きな助けとなっているため、深い学びに対応できるようになっている。 ・表記と表現については、比較的平易になるよう工夫されているため、学習に困難がある生徒に配慮がしやすい内容になっている。また、1年生の教科書の活字が大きくて見やすい。 ・各学年の同単元でのテーマが徐々に難易度を増しており、発達段階と合致する。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教材が、「主体的・対話的で深い学び」の学習展開がしやすいよう工夫されている。 ・「思考力・判断力・表現力の育成」、「グローバル社会・情報化社会への対応」など、予測困難な未来を生きる上で、身につけさせたい力が身につくようなバランス感のある教材配置になっている。また、教えやすく、学びやすい教材群になっている。 	

国語科（書写）調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい書写	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標確認から振り返りまでが全教材で同じ過程で構成されており、段階的に知識、技能の習得ができる。 ○小学校の学習の確認から始まり、教材ごとにまとめのページによる振り返りができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書写のかぎ」をもとに発見する、考える、応用する等の様々な学習に取り組むことができる。 ○考えや意見を記入する欄があり、生徒個々の変容や成長を見届けることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭「書写で学ぶこと」で書写学習の意義を知り、見通しをもって学習し、将来にわたって自分の字をより良くしようとする態度を育てることができるよう工夫している。 ○「話そう」「生かそう」を活用して、学習の確認や自主学習を行うことができる。 <p><毛筆と硬筆との関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ○硬筆文字を題材に導入を図り、毛筆で書いて確認し、もう一度硬筆で他の文字を書いて定着を図るといった形で毛筆と硬筆との関連付けを図っている。 <p><各教科や社会生活との関わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生活に広げよう」の中で、手紙や掲示物、職場訪問や防災訓練等の身近な題材を取り上げ、書写学習と生活との関連付けを図っている。 ○電子メールの書き方等、実際の生活場面にも活用できる題材も取り上げている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真、挿絵、図、グラフ等が補助的かつ効果的に取り入れられている。 ○学習する際の資料が巻末に「書写活用ブック」としてまとめられており、特に常用漢字表、人名漢字表は楷書体、行書体が併記される形で配置されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○筆づかいのポイントを、始筆「トン」送筆「スー」終筆「ピタッ」等と表記することで、運筆感覚をとらえる指導に対応している。 ○教材部分、資料部分ともに全体的に説明が丁寧である。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの観点から配色や改行、教材文字の見やすさ等について配慮されている。 ○動画や書写テストによって発展学習や自主学習を行うことができる。 	

国語科（書写）調査資料研究調査報告書

書名 項目	現代の書写	15 三省堂
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○目標から振り返りまで順を追って取り組むことができる構成になっており、知識、技能を段階的に習得することができる。 ○復習やなぞり書きのページが多く用意されており、技能の定着に効果的である。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れに「見つけよう」「考えよう」があり、教材文字から様々なことを読み取り考えたことを表現する過程が設定されている。 ○メモ、礼状等の身近な場面を用い、楷書と行書の使い分けを考える教材が配置されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○反復するページ、はがきの練習ページ等があり、国語教科書との連携を図っている。 ○巻頭に書写学習の目的や学習の進め方が明確な形で紹介され、学習の見通しを持つことができる。 <p><毛筆と硬筆との関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の定着を図るため、毛筆学習の後に硬筆で確かめる「書いて身につけよう」が設定されている <p><各教科や社会生活との関わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」で既習事項を活用した取り組み（新聞、情報誌等）が設定されている。 ○資料編の「日常の書式」の中で、はがき、送り状、願書等の書き方や時候の挨拶が紹介されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○「学びを広げる」において、文字に関する補充、発展的な学習をすることができる。 ○巻末の「資料編」では、書きぞめを始めとして、補充教材が多く準備されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「点画の種類と筆づかい」では、筆の運びや方向が、大きく朱書きでわかりやすく示されており、指でなぞりながら学習することができる。 ○学習過程や学習内容、学習のポイント等が、イラストや記号を用いてわかりやすく提示されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの観点からゴシック体の使用や識別しやすい配色がなされている。 ○道具の紹介で筆、硯等の他、ボールペン、タッチペン等の最新情報も記載されている。 	

国語科（書写） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学書写	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考え、生かし、振り返る」のサイクルで学習し、段階的に知識、技能を身につけることができる。 ○毛筆教材では穂先の通り道が大きく朱墨で示され、筆づかいが理解しやすくなっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えよう」では話し合い活動をとおした学び提示し、対話的な学びにつなげている。 ○読みやすく速く書く、相手を意識して書く、文字の大きさや配列に気をつけて書く等の教材が用意され、目的に応じて考えて書く力を身につけることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書写を通して学んでいくこと」で、書写学習の目的等がわかりやすくまとめられている。 ○「気づいたことを書こう」で自分が学習したことをまとめたり、筆の動きをなぞって確かめたりすることで、意図的に考え実感させることができる。 <p><毛筆と硬筆との関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「試し書き」から「まとめ書き」の流れの中で、毛筆、硬筆の両方に取り組むことで学習したことを生かしたり定着させたりすることができる。 <p><各教科や社会生活との関わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本の帯やポップ、色紙や新聞、メッセージ等状況に応じて書写の学習をどのように生かすか、考えを引き出せるような形となっている。 ○ノートの取り方を学習するページがあり、書写の学習を他教科に応用することができる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に書式、書写テスト、漢字一覧、補充教材等が用意され、発展的学習に活用することができる。 ○文字に関する様々な資料が「コラム」としてまとめられており、発展的な学習をすることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○親しみやすいキャラクターを用いて学習のポイントに迫るヒントを出すという形をとっている。 ○すべての毛筆教材で筆順、筆脈がわかりやすく丁寧に説明されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のポイントとなる部分にユニバーサルデザインによる文字や配色が使われている。 ○学びリンク（動画）や書写テストを活用することで発展学習や自主学習を行うことができる。 	

国語科（書写） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学書写	38 光村
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○教材ごとに目標を示し、知識・技能の習得と活用をくり返しなが、定着を図っている。</p> <p>○振り返りの文末表現は、常に目標を意識して取り組むことができたかを問う形式の表現となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「考えよう」「確かめよう」では、文字の原理・原則について考え、話し合う活動が設定されている。</p> <p>○「学習の窓」のポイントを生かし、配置や筆脈等を考えながら書くことができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭ページで三年間の目標や道具、学習の進め方等が紹介され、学習への動機づけを図っている。</p> <p>○「私の好きな言葉」では、既習事項を自分の生き方等に関連づけて書くことができる。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○「書写ブック」では、毛筆での学習を硬筆に生かして練習できるように配列や練習内容が構成されている。</p> <p><各教科や社会生活との関わり></p> <p>○各学年の国語で学習した教材と関連させ、書写で学んだことを生かして書く活動や、はがき、願書等の生徒の生活に結びついた活動が設定されている。</p> <p>○願書、送り状、年賀状等が「日常生活に役立つ書式」としてまとめられている。</p>	
資料	<p>○資料で取り上げられている人物、書籍、新聞等は最新のものが使われており、生徒にとって身近なものとなっている。</p> <p>○「中学生のための漢字字典」により、常用漢字表、人名用漢字表が楷書、行書が併記される形で紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○図や挿絵、写真が大きくゆったりとスペースがとられている。</p> <p>○各ページで適度な空間が配置され見やすくなっており、書き方のポイントや運筆等に集中して学習を進めることができる。</p>	
総括	<p>○ユニバーサルデザインについて学習するページがあり、書体やデザインを見て確かめることができる。</p> <p>○動画や書写テストを活用して自主学習や発展学習に取り組むことができる。</p>	

社会科（地理） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 地理的分野	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題が設定され、課題を解決する「チェック&トライ」により、学習の流れが構成され、「スキル・アップ」により学習に必要な技能を定着させる工夫がある。 ○情報を集め、読み取り、まとめる技能を身に付ける「集める」「読み取る」「まとめる」コーナーが設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入部において、各単元で活用する「見方・考え方」が示されており、見通しをもった学習につなげることができ、まとめにつなげることができる。 ○小グループでの学習を行うための「みんなでチャレンジ」コーナーにより、学習形態の工夫ができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元における課題の設定→学習課題の解決→まとめの活動の流れにより、主体的に課題解決型の学習に取り組むための工夫がある。 ○資料や写真が大きく掲載され、学習意欲を高める工夫がある。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元における課題の設定→学習課題の解決→まとめの活動の流れにより、主体的に課題解決型の学習に取り組むための工夫がある。 ○1単位時間ごとに「学習課題」と「チェック&トライ」を軸に、課題追究することができるようになっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果の高い資料を大きく掲載し、番号により見やすく整理されている。 ○ICT 機器の活用を促すコンテンツが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークがあり、教科横断的な学習を意識した学習を行うための工夫がある。 ○色や文字などにユニバーサルデザインを使用する工夫がある。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学びやすい構造になっているとともに、教師が指導しやすい紙面の工夫や、指導のサポートが充実している。 	

社会科（地理） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 地理 地域に学ぶ	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習内容のページごとに「確認しよう」の項目が設けられ、学習内容の確認をすることにより、知識・技能の定着を促す工夫がある。 ○「地理的技能」のコーナーでは、幅広い学習内容の定着に寄与する工夫がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習内容のページに「表現」のコーナーが設けられ、表現力を高める意識付けをすることができ、表現力の育成を促すことができる。 ○学習の導入部分のキャラクターの吹き出しや、「読み解こう」のコーナーが設けられており、地理的事象に対する考え方の視点を示す工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習への導入部分が「LOOK！」により解説文とともに掲載され、各学習内容のページごとに「学習課題」が設定されている。学習の方向性が示され、見通しをもって学習を進めることができる。 ○写真・地図・グラフなど、豊富な資料が提示されており、学習内容が可視化されることにより、学習意欲を高める工夫がされている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「世界の諸地域」の單元においては「学習テーマ」が、「日本の諸地域」の單元においては「学習の視点」が提示され、単元を見通した学習への意識付けができる工夫がある。 ○学習の主題・副題により、課題解決型の学習の流れがつけられている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に不可欠な写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富に掲載され、視覚的に捉えやすい工夫がされている。 ○巻頭や折り込み・扉ページを有効に活用したレイアウトで、資料性と学習効果が高まる工夫がされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見やすく、文字は黒文字を基本として、色文字は十分な大きさを確保している。 ○図版資料については、配色とともに形や模様、引き出しなどの表示も判読しやすい工夫がされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学びやすい構造になっているとともに、教師が指導しやすい紙面の工夫や、指導のサポートが充実している。 	

社会科（地理） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46 帝 国
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○興味・関心を高める「導入」→学習の見通しを持たせる「学習課題」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、学習の流れの工夫がある。</p> <p>○「技能をみがく」コーナーが23か所設けられ、基礎的な技能の習得を促す工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「確認しよう」と「説明しよう」のコーナーが設けられ、言語活動を毎時間繰り返し行い、思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がある。</p> <p>○各单元ごとに「章（節）の学習を振り返ろう」が設けられ、章の学習で得た知識を生かしながら、単元の課題に対して、思考・判断・表現する課題が設けられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○各学習項目のページごとに詳細な学習課題が設定され、学習の方向性が示されている。</p> <p>○写真や地図、グラフなどが大きく見やすく掲載され、興味・関心を高める工夫がされている。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○「章（節）の学習を振り返ろう」では、「章（節）の問い」に対して「地理的な見方・考え方」を考えるステップなど、課題解決的な学習ができる工夫がある。</p> <p>○「章（節）の問い」→「学習課題」「説明しよう」「確認しよう」→「章（節）の学習を振り返ろう」の流れで構造化され、単元のまとまりの中で「深い学び」が実現できるように工夫がされている。</p>	
資料	<p>○QRコードやアドレスが153点あり、指導のための学習支援の工夫がある。</p> <p>○章ごとに色分けがされており、学習している分野がわかりやすい。</p>	
表記・表現	<p>○色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができる工夫がある。</p> <p>○本文は、具体的に例示をしたり、地理的事象の背景や因果関係までわかるように丁寧に記述されている。</p>	
総括	<p>○学びやすい構造になっているとともに、教師が指導しやすい紙面の工夫や、指導のサポートが充実している。</p>	

社会科（地理） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 地理的分野	116 日 文
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習内容ごとに「確認」のコーナーが設けられ、学習内容のまとめを行うための方向性が示され、知識・技能の定着ができる工夫がある。 ○小学校での学習内容との結びつきを示す「連携」のコーナーが示され、既習内容を活用した学習を進めることができる工夫がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目ごとに「見方・考え方」の視点が示されており、学習内容を理解する上での方向性が明確に示されている。 ○「トライ」「スキルUP」「アクティビティ」「チャレンジ地理」「深めよう」など、要所で生徒が自分の言葉を使って表現できるような工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目のページごとに「学習課題」が設定され単元を貫く課題を示し、「振り返り」「アクティビティ」「チャレンジ地理」などにより、自らの思考のプロセスを客観的に捉える力を養うための工夫がある。 ○「自由研究」のコーナーにより、理解を深め、多角的に地理的事象を捉える工夫がある。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「世界の諸地域」および「日本の諸地域」については、「追及するテーマ」が示されており、単元を通じて課題を追究する活動の充実を図ることができる。 ○「地理+α」「自由研究」で学習への理解をより深める工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○世界や日本の地理的特色を具体的にイメージできる資料（写真・グラフ・地図）が掲載されている。 ○QRコード（デジタルマーク）があり、学習支援のための工夫がある。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○各種主題地図・雨温図は、体裁・配置・サイズを統一して提示され、理解や比較を容易にする工夫がされている。 ○地図・写真・グラフ図版類は、色以外の情報でも識別できるような工夫がされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学びやすい構造になっているとともに、教師が指導しやすい紙面の工夫や、指導のサポートが充実している。 	

社会科（歴史） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい社会 歴史	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるように地図資料に配慮がなされている。 ○「チェック」の欄で基礎部分が確認できる。また、20項目に及ぶスキルアップにより、年表の読み取りやグラフの読み取りなどの技能習得が図られている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の終末に「トライ」で自分の言葉で表現する時間が設けられており、表現力を高めることができる。 ○時代区分ごとには思考ツールを活用したまとめも行えるようになっているので多面的・多角的な考察を促している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「探求のステップ」において単元を貫く課題を設定し、見通しを持って主体的に学ぶことのできる構造となっている。 ○各ページに絵図や写真が大きくかつ豊富に使用されており、生徒の興味を喚起させやすい。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章のまとめの活動ページに、クラゲチャートやXチャートなど思考ツールが提示されているため、それぞれの時代の事柄を整理して特色をつかむ活動を行いやすい。 ○「みんなでチャレンジ」が思考・判断したことを説明したり、それをもとに議論する力の向上を図ったりしている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○導入で着目すべき写真・絵図が大きく掲載されており、学習に引き込みやすい。また、江戸後期の百姓一揆・打ちこわしの発生件数や外国船の来航件数のグラフが、変化を読み取りやすい。 ○イラスト資料が見やすく、また写真資料のほうが望ましいものに関しては写真資料を使っている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの左下に年表スケールが提示され、学習者が今どの時代を学んでいるか、逐次確認しやすい。 ○パターン化された紙面構成でユニバーサルデザインにも配慮がある。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○主に思考力・判断力・表現力の育成及び学びに向かう力の育成に主眼を置いた内容構成である。構造的な学習課題の提示、思考ツール等、主体的・対話的で深い学びを追求する授業者にとって使いやすい。絵や写真も多くの生徒が学習に取り組みやすい。 	

社会科（歴史） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 歴史 未来をひらく	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「確認！」の欄で学習内容の確認ができる。また、各編のまとめのページが年表と地図と文化の確認でパターンとなっており、振り返りに取り組みやすい。 ○世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるよう地図資料に配慮がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史の技」で歴史的事象を広がりの視点などをもって、学習内容について説明するなど書く力をつけるための問いが設定されている。 ○「学習のまとめと表現」では、多面的・多角的に事象を捉え、前時代と比較し、関連付けて考えるような内容となっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入ページに絵図や写真が大きく掲載され、これから学ぶ時代に学習者の興味関心を喚起しやすい。 ○本時のタイトルが「何だろう」という疑問を持たせるような言葉を選び、一時間の中でその疑問が解決される流れとなっていて関心を高めている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体として、単元を貫く課題と各授業の学習課題が構造的に設定されている。 ○「〇節をとらえる」では単元を貫く課題を途中でまとめながら、要所を押さえつつ進めることができる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校で学習した人物にマークがついており、小中の接続を意識したものになっている。 ○導入で着目すべき写真・絵図が大きく掲載されており、学習に引き込みやすい。また、江戸後期の百姓一揆・打ちこわしの発生件数や外国船の来航件数のグラフが、変化を読み取りやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインを意識した色使いをしている。 ○語句・用語の解説が同じページの欄外に掲載されており、ページをめくることなく確認ができる。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学びに向かう力の育成に主眼が置かれた内容構成になっている。各見開きのページのテーマが学習意欲をもちこめる興味深い文である。（グレートジャーニー、エジプトはナイルの賜物など）グラフが大きく掲載されており、量的変化や割合などを一目で把握しやすい。 	

社会科（歴史） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46 帝国
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードがあり、タブレット端末を利用した家庭学習をサポートしている。 ○各見開きページ右下の確認欄で学習内容の確認ができる。また、各章のまとめのページが年表と地図の確認でパターン化となっており、学習者が各章の基礎的知識の振り返りに取り組みやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「タイムトラベル」が見開きの資料になっていて見やすく、時期や年代の比較、相互関連、現在とのつながりなどの視点を養うことができる。 ○毎時間の終末に「説明しよう」で自分の言葉で表現する時間が設けられており、表現力を高めることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○節の導入によっては、見開き大のサイズで時代を描いたイラストが掲載され、時代の比較がしやすく、関心をもたせやすい。 ○世界遺産など代表的な文化財の写真が豊富に掲載され、文化財への愛着を育みやすい構成になっている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「節の問い」で単元を貫く課題と各授業の学習課題が構造的に設定されている。 ○「多面的・多角的に考えてみよう」のページでは、さまざまな考えに触れながら自分の考えを深めていく構成であり、手順に沿って学習内容を深めている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○同時代の世界と日本の状況を俯瞰できる見開きの地図が掲載されており、比較しやすい。 ○時代ごとの政治の仕組み（幕府の仕組みなど）がいずれも見開きページ右下の同位置に掲載されており、比較がしやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○思い込みをさせることなく、正確な知識を伝えようと言葉を選んで記載している。 ○語句・用語の解説が同じページの欄外に掲載されており、ページをめくることなく確認ができる。また、見開きの左下に年表スケールが提示され、学習者が今どの時代を学んでいるか、逐次確認しやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○多面的・多角的に歴史をとらえることに主眼を置いた内容構成である。同時代の世界と日本、各時代の政治体制、複数の人物などそれぞれの比較を通じて、自らの考えを深めることができる。 	

社会科（歴史） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学歴史 日本と世界	81 山川
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域からのアプローチ」は歴史と地理を関連付けて考察するようにできている。また、「歴史へのアプローチ」でもさらに知識を深める詳細な記述がある。 ○文章量が多く、それに伴う知識量も多い。また、語句の説明がページ中に書かれており、学習につまずきを覚える生徒にとってわかりやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の問いかげが面白く、取り組みがいがある内容になっている。また、それを題材とした議論もすることができる。 ○各見開きページに設定された複数の問いが学習内容について深く考えさせるものになっており、理解度に応じた活用が見込まれる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の地域の歴史（福岡・奈良など）において、各地域の歴史をより深く探求するきっかけが与えられている。 ○生徒にとって意味が分かりにくい用語についての、解説記述がある。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各見開きページに1～2つの学習課題が設定されており、探究活動に向かわせる工夫がなされている。「ステップアップ」の問いによって、学習者はページ内容についてより深く探求するきっかけを与えられている。 ○「まとめ」では空欄を埋める形式になっており、取り組みやすい内容になっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○多種多様な絵図資料を掲載し、QRコードを利用してNHK for schoolで動画を視聴することもできるように工夫している。 ○「〇世紀の世界」は各時代が大観できるようなつくりになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○語句・用語の解説が同じページの欄外に掲載されており、ページをめくることなく確認ができる。 ○色使いが工夫されており、落ち着いた印象を受ける。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史についての豊富な知識習得に主眼を置いた内容構成になっている。文章量が多く、それに伴う知識量も多い。資料や情報が豊富であり、深い学びにつながる。 	

社会科（歴史）調査資料研究調査報告書

書名 項目	<p>中学社会 歴史的分野</p>	<p>116 日 文</p>
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○節ごとに「地図で見る世界の動き」において主要な国々がその時代にどのような範囲・広がりを見せていたかがわかりやすく表現されている。 ○防災学習の視点を意識したものになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見方・考え方」「深めよう」などで課題を明確に提示し、自身の言葉で表現する力を向上させる手立てが多くある。 ○各編のまとめのアクティビティ欄で、3つの段階を踏んで最終的に時代の特色をまとめる活動が掲載されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史の+α」の内容が関心をひくものとなっており、それぞれの知識が現代社会の中でどのような位置づけになっているか考えるような内容になっている。 ○世界遺産など代表的な文化財の写真が豊富に掲載され、文化財への愛着を育みやすい構成になっている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各見開きページとも学習課題から学習の確認、さらに深める問いへの取り組みという一貫した構成であるのに加え、学習課題に対しての見方・考え方が設定されており、課題についてまとめる際に取り組みやすい。 ○現代の課題の背景や先人たちの努力を参考に、学びを深めることができる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○文化史では、資料が大きく取り上げられており、見開き2つを使って学習を進める形式となっている。 ○地図上に明示された矢印によって、国の侵攻の様子や版図の拡大の様子などを一目で理解できる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○語句・用語の解説が同じページの欄外に掲載されており、ページをめくることなく確認ができる。 ○見開きの左下に年表スケールが提示され、学習者が今どの時代を学んでいるか、逐次確認しやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史への見方・考え方の習得に主眼を置いた内容構成になっている。各見開きページごとに学習課題に対する見方・考え方が明示されており、学習のまとめに取り組みやすい。また、見開きイラスト地図によって、同時代の世界の中における日本の状況を把握しやすい。 	

社会科（歴史） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	[最新] 新しい日本の歴史	227 育鵬社
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史にズームイン」では歴史に関わる事象が現在とのつながりに着目してまとめられている点が多くある。 ○文章量が多く、それに伴う知識量も多い。また、「学習のまとめ」のページが年表と地図と時代を代表する資料の確認でパターンとなっており、学習者が各章の基礎的事項の振り返りに取り組みやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各見開きページの右下に、時代の推移や地域のつながり、出来事の因果関係、違いなどを説明するための設問があり、書く力を育成しやすい。 ○各章のまとめのページにおいて、各時代の社会の移り変わりに着目して時代をとらえる活動が掲載されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国を作り上げた人物たちについて興味関心を持てる内容構成になっている。 ○これから学習する時代を概観できるイラストが掲載されており、学習内容について見通しを持たせながら興味関心を喚起させることができる。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「歴史のターニングポイント」では様々な資料をもとに時代の出来事について学習者が主体的に追求できる題材を設定し、議論する力を養うことができる。 ○「歴史学習のまとめ」では学習内容を表現しようとする意欲をひきだせる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○一部抜粋されていた資料が、より原文に近い量であり、読み応えのある内容である。 ○人物の肖像画や写真を豊富に使用して、歴史学習に親しみを持たせようとしている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○近代史についての記述では、多角的な視点から事実を考察することで生徒の主体的な学習態度をひきだす工夫がされている。 ○見開きページに通し番号が設定されており、調べ学習などを行う際に学習者が目標のページに到達しやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学びに向かう力、人間性等の涵養に主眼を置いた内容構成である。我が国を作り上げた人物たちや悠久の時を経て形作られた文化財について、学習者に興味関心を持たせながら、歴史に対して愛着を喚起させることができる。 	

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい社会 公民		2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間の紙面が、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チェック&トライ」の流れになっており、学習内容の定着につながる工夫となっている。 ○「スキル・アップ」で資料の活用の仕方などがわかりやすい表現で学習できるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「みんなでチャレンジ」コーナーが設けられており、小グループ等で対話的な活動が行われる工夫がなされている。 ○「見方・考え方」を働かせるコーナーが設けられ、学習を深める工夫がなされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げ、現代の課題を自分なりの意見を基に解決しようとする態度を養う工夫がなされている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○最後に持続可能な社会について考え、自分にできることをアクションプランにまとめるページが設けられており、課題を解決しようとする態度を養う工夫になっている。 		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料のサイズが大きく、本文中との関連性も番号等でわかりやすく掲載されている。 ○写真・グラフ・表など様々な種類の資料がバランスよく掲載されている。 		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文中のふりがなの文字の濃さが本文の文字よりも薄くなっており、本文を読み取る時に読みやすい工夫がなされている。 ○本文中の用語の解説を青文字で表記している。 		
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間の流れが整えられており、授業の最後で知識の定着や表現力を高めるための課題が設定されており、1 単位時間の学習の確認がしやすい構成となっている。 		

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 公民 とともに生きる	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページで「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認」と「表現」という構成になっており、最後の確認で知識の理解ができるよう工夫されている。 ○教科書の始めの部分で、新聞を例に資料をどのように活用するかを学べる構成となっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページ最後の「表現」の課題により、自分の言葉で説明するなどの思考力、判断力、表現力を養う工夫がなされている。 ○章末などに、ディベートやジグソー法等を具体的に活用する課題が設定されており、様々な学習方法を学べるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりのアイデアの提言をプレゼンテーション形式で行う課題が設定され、社会参画への意識を高める工夫がなされている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の最後に「私の提案」という課題が設定されており、課題解決に向けた提案をするという活動が行える工夫がなされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsを始めに大きく紹介して、その後の教科書の内容でどの項目が該当するのかを意識付けさせている。 ○グラフを大きく、写真は小さめにする事で、図表から読み取る力を育成しやすい。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の既習事項がリンクするように注釈がつけられている。 ○本文の太字がはっきりしていて見やすいというフォントの工夫がなされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○1単位時間の流れが整えられている。また、単元を通じた学習が意図的に組み込まれており、次の授業への継続性を意識させるようなつくりになっている。 	

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	46 帝 国
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「資料活用」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう」と「説明しよう」という構成になっており、「確認しよう」で知識の定着を図る工夫がなされている。 ○「技能をみがく」というページで、資料の活用のしかたなどを学習することができるよう工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「特設ページ・コラム」の内容を活用することによって、話し合い活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を養う工夫がなされている。 ○見開きの最後の「説明しよう」の課題で思考力、判断力、表現力を養う工夫がなされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティブ公民」というページで、身近な事例をもとに自分自身が課題の解決のために社会参画をしていくテーマが設定されている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○最後に持続可能な社会を目指すための、レポートを作成する課題が設定され、課題を追求し、解決する活動を促す工夫がなされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が知っているような企業の取り組みなどが具体的に紹介されており、社会に対する関心を持たせやすい内容となっている。 ○資料についての補助説明があり、読み取りやすい工夫がなされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○単元がはっきりと色分けされていて、ページが見つけやすい工夫となっている。 ○小学校の学びと中学校の授業がリンクするように見出しが付けられている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○資料が充実しており、課題解決学習への手立てもわかりやすい構成となっているため、生徒が作業をしやすい工夫がなされている。 	

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学社会 公民的分野	116 目 文
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間の学習課題にヘルプが示されており、授業の見通しを持ちやすい工夫がなされている。 ○本文の下に適宜発展的な課題が示されており、習熟度に応じた学習をしやすい工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティビティ」というコーナーで身近な事例を取り上げていたり、グループ活動の課題が設定されていたりする。 ○調べるテーマに適したシンキングツールを紹介し、活用するための手立てが丁寧に説明されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○有名なニュースや SNS など、生徒の関心が高まるような時事問題を多く取り上げており、社会の学びに対する意欲が向上するよう工夫されている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○レポート課題例が示されており、資料収集、考察、まとめまでの流れを学習しやすくなっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○1 枚 1 枚が大きくて見やすいものになっている。 ○本物の点字がついているなど、多種多様な資料が掲載されており、読み取り作業がしやすいものになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○脚注の量が多くなく、説明も文字数が少なく読み取りやすい工夫がされている。フォントなども読みやすい工夫がなされている。 ○单元ごとの色分けがはっきりしており、調べやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○シンキングツール等が具体的かつ多種類にわたって紹介されているため、主体的・対話的で深い学びを意識した授業に活用しやすいものになっている。 	

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい公民教科書	225 自由社
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元によっては、資料などからわかることを表にまとめる作業を設定しているところもある。 ○見開きの最後の「ポイント」という部分で、基礎基本的な内容がまとめられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティブに深めよう」というページが各章や単元ごとなどに作られていて、自分で多面的・多角的に考察する課題や話し合い活動を行う課題などが設定されている。 ○「ディベートをやってみよう」というページでは討論によって、思考力、判断力、表現力を養う工夫がなされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際社会の中での日本の立場等を肯定的に捉え、自国を愛し、その平和と繁栄を図ろうとする態度につなげようとする工夫がみられる。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「レポートと卒業論文をつくろう」というテーマが設定され、どのように作成していくかの説明がなされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や表、グラフなど、多種多様な資料が本文の上部や左右の部分に比較的大きく載せられている。 ○資料の量や資料内容の説明が読み取りやすく、紙面にスペースが確保されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○脚注の量が多く説明も細くなくされている。紙面上にスペースが多く見やすい工夫がなされている。 ○項目番号が単元ごとではなく、通し番号になっているので、全体の見通しが立ちやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○日本政府の安全保障政策やその他の政策等に対して、肯定的な表現で表記してある。 	

社会科（公民）調査資料研究調査報告書

書名 項目	[最新] 新しいみんなの公民	227 育鵬社
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○抽象的な内容については図版などで、理解を助ける工夫がなされている。 ○「スキルアップ」というページで、資料の読み取りなどの技能を身に付けられるような内容が設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つかむ→調べる→まとめる」の紙面構成により、問題解決型学習の流れになる工夫がなされている。 ○「学習を深めよう」や「やってみよう」で思考力や判断力、表現力等を養う工夫がなされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGs が始めに大きく紹介されていることにより、持続可能な社会に向けた参画意識を高める工夫がなされている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○最後にプレゼンテーションという形式で、課題探究のテーマが設定されている。プレゼンテーションの内容をレポートにする内容も設けられている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○導入とそれに関する問い、図版、写真などが豊富に掲載されている。 ○資料と本文の関連性を、数字で表現している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○脚注の量が多くなく、説明も文字数にも配慮があり読み取りやすい工夫がされており、フォントなども読みやすい工夫がなされている。 ○本文と資料の枠組みがはっきりと分離されており、見やすくなっている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○1 単位時間の構成が「つかむ、調べる、まとめる」という構成になっており、問題解決型学習を行いやすい内容になっている。 	

社会科（地図） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい社会 地図	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○基本図だけでなく、各種地図が豊富に掲載されている。地名の漢字には、すべてふりがなが付されている。主要地名には欧文が併記され、国際化への対応ができています。また縦向き<small>の</small>地図を効果的に使い、大陸部分を中心に、地球儀代わりに使用できる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各種地図・資料が豊富であり、知識の獲得のみで終わらない構成となっている。特に「スキルアップ」コーナーでは、人口ピラミッドの作成や地形図の読み取りなどの資料作成、地理的技能を高められる資料を掲載している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○地形だけでなく、自然環境、生活、産業、文化などの簡易イラストをマップに豊富に点在させており、見やすく、生徒が興味をもちやすい表現が数多くある。また修学旅行・校外学習関連・東京オリンピック関連の資料も数多く設置されており、生活に生かすことができる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○「持続可能な開発目標（SDGs）」を中心に、「環境・エネルギー」「人権・平和」「防災・安全」「伝統・文化」「情報・技術」の教科書の単元を貫く、5つの現代社会の諸課題に関する資料を豊富に掲載し、教科書での学習をサポートしている。</p>	
資料	<p>○「Dマーク」が数多く設置され、教科書や地図帳での学びをサポートするコンテンツが多数収録されている。また地形や気候、人口といった分類ごとに資料を探せる「資料さくいん」を設け、資料の検索性を高めている。</p>	
表記・表現	<p>○UDフォントを採用し、ユニバーサルデザインに対応した書体を採用している。また不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、学習内容に集中できるフラットデザインを採用し、特別支援教育に配慮されている。</p>	
総括	<p>○地理的分野を中心に、歴史的分野・公民的分野をあわせ、教科書にない補充資料や教科書より詳しい資料を掲載し、教科書と連携した編集をすることで、3年間を通して中学校社会科の学習をサポートする「教科書準拠資料集」の役割を持っている。</p>	

社会科（地図） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学校社会科地図	46 帝 国
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○基本図だけでなく、各種地図が豊富に掲載されている。地図の凡例が細かく、分類され、色分けもきれいに表現されている。地名の漢字には、すべてふりがなが付されている。主要地名には欧文が併記され、国際化への対応ができています。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○要所に「地図活用」が新設され、「社会的な見方・考え方」を働かせる発問となっている。イラストを配した鳥観図、各資料図の縮尺が統一、世界と日本の比較がしやすい地図・資料が豊富であることなど、知識の獲得のみで終わらない構成となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○地形だけでなく、自然環境、生活、産業、文化などの簡易イラストをマップに豊富に点在させており、見やすく、生徒が興味をもちやすい表現が数多くある。また修学旅行・校外学習関連・東京オリンピック関連の資料も数多く設置されて、生活に生かすことができる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○防災や我が国の領土といった、今後の日本社会の重要な視点に立った地図構成となっている。またグローバル化や少子高齢化・人権学習や平和学習の観点から、様々な立場や考え方があることを認識できる地図・資料が豊富に掲載されている。</p>	
資料	<p>○「二次元コード」が数多く設置され、資料活用能力を高めるコンテンツが多数収録されている。また地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説されたページが5ページにもわたり設けられている。</p>	
表記・表現	<p>○従来より、地図帳が大判化されているが軽量である。文字のフォントが丸ゴシックになり、ユニバーサルデザインに配慮されている。また統計資料の項目が色分け（濃淡）されているなど、特別支援教育やインクルーシブ教育に配慮されている。</p>	
総括	<p>○地理的、歴史的、公民的分野の情報が豊富にのせられており、「深い学び」につなげやすい。「地図は北が上」という固定概念にとらわれない柔軟な視点の地図も設置している。持続可能な開発目標【SDGs】の観点に基づいた資料が豊富であり、未来を生きるための情報と共に、見ていて飽きることのない構成である。</p>	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい数学	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えてみよう・調べてみよう」「例題・考え方」「問」「基本の問題」と、段階を追って学習を進められる。 ○「章の問題」「補充の問題」「深い学びのページ」等をつかいながら学習内容の補充・深化を図ることができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノートづくり方のポイントを表記するだけでなく、ノートに見立てた解説や、「数学マイノート」と表して板書の参考となる例を示すなど、思考力・表現力を高めるためのノートの作りを大切にしている。 ○「数学の自由研究」というページがあり、他教科ともつながりをもたせながら学びを深めたり、思考力・表現力を高めるための工夫をしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文中の所々に「学びを広げよう」のページがあり、数学が社会で活用される場面を載せ、考えを深めたり学習内容を実生活に生かそうとしたりする態度を養おうとしている。 ○「学びを振り返ろう」という見出しで、既習事項や関連事項について確認・復習に興味関心をもたせる工夫をしている。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「深い学び」を章ごとに置き、さらに巻末に「深い学びを振り返ろう」を設け、学習してきた力を伸ばし、数学的な資質・能力を育成しようと工夫している。 ○内容によっては、インターネット上のコンテンツが使って学習をすることができ、図形を動かしたり、グラフを作成したり、実験等を動かしながら視覚的に観察することができる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○節末「数学の窓」で、数学についての公式や知識、歴史等を学ぶことができたり、発展的な内容も扱ったりと、興味関心を向上させる工夫をしている。 ○巻末「学びのつながり」が見開きで綴じ込んであり、現学年での内容及び前年までの既習事項が丁寧にまとめてあるので、振り返りがしやすく、学習のヒントとして活用できる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○小節毎に、学習課題やねらいが明確になるように□で囲み分かりやすく表現している。 ○課題「考えてみよう」は緑、「例」は赤、「問」は青、考え方のポイントは水色で、それぞれ枠で囲み、色分けして塗りつぶしてあるため、非常に見やすく表現されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○もくじのタイトルに主体的に学ぶ意識をもたせ、前学年とのつながりを明記し、「学びのつながり」で既習の確認・復習ができる。また、章末の「章の問題」はA・Bに分けられ、Bには活用の問題があり、生徒の能力に応じ学習が進められるよう工夫がなされている。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	数学の世界	4 大日本
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が目的を持って臨めるように、章や節の初めに「めあて」を提示し、生徒が1時間の授業で習得すべき授業のゴールを明確化している。 ○章末の「○章をふり返ろう」には「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3観点に基づいた評価を生徒自身で行えるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習した内容を確認なものにするための問題の中に、思考力・判断力・表現力を育むことを意図した問題が設けてある。 ○生徒同士の話し合いの様子を示し、コミュニケーション能力の育成やノート作りの例を示し、学習した内容を自分の言葉でまとめる力を養えることができる教科用図書となっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「この教科書の使い方」を設け、構成やマークの意味を明記し、主体的な学習になるよう工夫されている。また、QRコードなどを設けデジタルコンテンツが充実している。 ○「MATHFUL」や章の導入で、数学の歴史や数学者、美術や音楽などの芸術的分野との関わりを紹介するなど、身の周りの事象との関連に関心が高まる話題を豊富に取り上げている。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数学の世界へようこそ」で、問題発見・解決を「問題を見出そう」「解決の仕方を探ろう」「解決しよう」「深めよう」の4つで説明し、数学的活動への取り組み方が分かるように説明されている。 ○「活動」において数学的表現を用いて考えを伝え説明する活動を積極的に取り入れている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○身の周りの場面から正確で新しい資料を取り上げるとともに、新聞記事や自治体の広報誌などの実感をともなう資料が用いられている。 ○シミュレーション、動画、インタビュー記事などのウェブコンテンツが豊富である。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○用語・記号は初出時に太字で示し、ふりがなを振って読みやすくなっている。 ○重要な語句（教科書太字）は途中で改行することなく表記されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○全体を通じ、「課題を数学の問題として見てみたら考えやすくなった」「数学の学習で取り組んだ順序で考えたら解決できた」という課題設定が多く、生徒たちの心に「数学は楽しい」という思いが芽生える構成となっている。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学校数学	11 学 図
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように、各節ごとに「確かめよう」や「計算を高めよう」があり、繰り返し学習ができるように工夫されている。 ○章末には、「この章で何を学んだのか」が分かるようにまとめてあり、容易に振り返る工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○大問ごとに「見方・考え方」の小窓が用意されていて、問題を考えていく中でのヒントや道筋が示されている。 ○教科書の登場人物の会話を参考に、見通しを持った話し合い活動ができるように工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各問題の最後には「次の課題へ」があり、より深い学びにつなげられるように工夫されている。また、「役立つ数学」では数学史など意欲を高められるようになっている。 ○「さらなる数学へ」があり、学んだ内容を用いて、新たな問題の発見をする工夫がされている。また、自分の言葉で表現する問いも多く、発展的な内容も含んでいる。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入に日常生活における事象を扱っており、その課題を解決するための策としてその事象を数学の事象として焦点を合わせて、解決に向かうように構成されている。 ○章末にはもっと学んでみたいことや疑問に思ったことをまとめ、さらなる学びに繋げている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○導入に使用しやすいよう品物の売買やTV調査、国勢調査など身近な資料を用いて問題を提示する工夫がされている。 ○数学史の功績の紹介や絵画など世界中の写真や資料を用いている。また、グラフや座標など、ゆとりのある配置になっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○数学で用いる分数や文字 x や y など読みやすい、扱いやすいように文字の書体や大きさが工夫されている。 ○座標軸や図形の大きさにゆとりがあり、補助線の書き込みや特徴を捉えやすい構成になっている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザイン (UD) やカラーユニバーサルデザイン (CUD) の視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮されており、誰にでも見やすく分かりやすい教科書になるように工夫されている。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学数学	17 教出
内容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○例・たしかめ・問・節末に基本の問題と段階をおって問題が設けてあり、無理なく学習できるようにになっている。そして定着が不十分なときは、学習したページに戻れるように構成してある。 ○すべての章の始まりと終わりに学習したことを振り返る場面が設けてある。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に沿った数学的活動（数学化、統合、発展／体系化）を教科書の色々な箇所体験することができる。 ○問題解決のプロセス（進め方）を示したページが掲載されており、自分の考えを伝え合い、みんなで学習活動ができるようになっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての章のとびらで、数学が日常生活や実社会に利用されている事例が紹介されていて、学ぶ必要性や大切さが実感できる。 ○Let's Try では生徒の生活に身近な題材が多く取り上げられ、興味・関心をもって、新たな章の学習に入ることができるようになっている。 <p>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決のプロセスを示したページでは、数学化、活用・意味づけ、統合・発展／体系化などの一連の過程を体験することが数多く設けてあり、未知の課題を解決する力が徐々に育てる構成になっている。 ○「データの活用」の領域では PPDAC サイクルに沿って、学習活動を行うページがある。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○「まなびリンク」というQRコードがついており、動的な表現や3Dによる立体表現などを見ることができ、学習内容の理解を促すことができる。 ○巻末にある学びのマップでは、これまでに学習した内容がコンパクトにわかりやすくまとめられてあり、学習内容を振り返りたいときは、すぐに確認できるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの人にみやすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○読みやすくするために、単語の途中で改行せず、文節のまとまりなどで改行し、中心的内容と補足的な内容を一目で区別できるように、側注のデザインを工夫している。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○この教科書は教えるための教材から、生徒自らが読み解いて学ぶことができる教科書である。生徒たちが様々な事例に触れ、興味をもつことで学びが始まり、そして楽しく学びながら、数学的な資質・能力を育て、数学の大切さを実感して学んでいける教科書になっている。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	未来へひろがる数学	61 啓林館
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「練習問題」や「章末問題 学びをたしかめよう」の内容が充実しており、知識・技能の定着がはかれるように工夫されている。 ○キャラクターのコメントに押さえておくべき内容が書かれていて、生徒の理解の助けとなる工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○じっくり考えて解決する問題を、「章末問題 学びを身につけよう」や「力をつけよう」で取り上げ、思考力を育むことができるようにしている。 ○「説明しよう」「まとめよう」では、言葉や数、式、図、表、グラフを適切に使って表現したり、まとめたりする力が育成できるよう工夫している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○節ごとに「学習のとびら」を設置し、生徒が主体的に学習に取り組める工夫が取り入れられている。 ○「章末問題 学びをたしかめよう」にチェック欄があり、「学びのあしあと」で学習の記録を残すことができるようにするなど、学習を客観的に振り返ることができる工夫がある。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用の節の先頭の課題では、身のまわりの場面から問題を発見し、数学の考えを使って解決する流れが見える「ステップ方式」の構成をとっている。 ○「説明しよう」等では、数学的な表現を用いて説明し、伝え合う力を身につけることができるように配慮されたつくりになっている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容と関連する写真や絵で紹介したり、本文の説明を補うための説明図や表を効果的に使ったりして、学習の理解を助けるような工夫がされている。 ○QR コンテンツが充実していて、例えば四分位数を求めたり、箱ひげ図をつくったりすることが簡単にできるツールが用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが紙面の内容を判別しやすいフォントや配色にしているのと同時に、「赤」などの文字もそえ、文字でも区別できるようにしている。 ○本文と「例」、「間」などの間は、スペースをあけ、区切りごとにまとまりをもたせて読みやすいように工夫されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○必修部分の「みんなで学ぼう編」、オプション部分の「自分から学ぼう編」の2部構成でつくられている。裏表紙から始まる縦開き型で、発展的な学習だけでなくふりかえりや練習問題なども見開きで完結するつくりになっており、個に応じた主体的な学びを実現することができる教科書である。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの数学 探究ノート	104 数 研
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○平面図形や空間図形では具体物が載っているので、イメージではなく実物で捉えることができる。 ○1次方程式では等式を天秤に例え、つり合うことが等式を成り立たせることと同じであると理解させ、等式の変形に進んでいる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元で具体物の写真を載せ、例題として思考の手順がわかるようになっている。また、巻末にも様々な事象が載っており、興味・関心を引く構成になっている。 ○各章の前に「ふりかえり」のページが設けられており、ページの右端にはふりかえりのリンクがある。また、巻末に前の学年との繋がりが「まとめ」として掲載されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての学年で具体的な事象を例として扱い、文章題にも日常の一部を挙げ、様々な場面で数学の知識で課題を解決することができるという実感を持つことができる。 ○巻末に「学びの自己評価」があり、「自分で学ぶ力」と「学び合いの力」の2項目をチェックできるようになっている。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとに図や表による思考の可視化、先生や生徒の話し合いによる流れの把握、身の回りの事例が充実している。 ○論理的に考える場面、統合的・発展的に考える場面が充実している。また、自分の考えを数学的な言葉で表現する機会が豊富に用意されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○色分けや記号を用いて、対応がわかりやすくなっている。 ○章の扉絵に新聞記事などを使い学習内容との関連を意識させ、具体的な課題を扱っている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ページ左に文章を載せ、右の空きスペースに図や表を入れ、文章と図や表を関連させながら学習が進められるようになっている。 ○用語に対応する場所（部分）が色分けされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の内容を発展させた課題を集めた「探求ノート」を設け、学びをどんどん深めていけるようになっている。また、QRコードやデジタル教科書のリンクの活用ができるようになっている。 	

数学科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学数学	116 日 文
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各小節の始めの「Q」と「めあて」では、学習内容のイメージをもちやすいよう構成されている。また節中の「例」にタイトルがあり、学習内容をつかめるように工夫されている。 ○知識及び技能を定着させるために「補充問題」や既習事項の「復習問題」など、様々なタイプの問題が用意されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○理解を深める問題「深めよう」では、発展的に考察する数学的活動の場面として設定されている。 ○初出の数学用語の使い方を理解・定着できるように、表現の具体例が「表現の例」として示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「身近なことから」では、数学の問題を見出していく数学化の過程が扱われており、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う場面が設定されている。 ○各小節の節末に設けられている「次の課題」では、次の学習への意識を高め、学びに向かう力、人間性等を涵養に寄与している。 <p><数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭では、数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と数学の学び方のポイントが分かりやすく示されている。 ○巻末にある「対話シート」では、主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○空間図形や因数分解の学習の際、具体的な操作活動に使える付録が充実しており、実感を伴って理解することができる工夫がなされている。 ○「2年6章データの分析と確率」では小学校で学んだドットプロットと対応させた図を入れ、箱ひげ図のしくみを正しく理解できるようにしている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○説明・例題・問題の間に適切な余白があり、見やすいレイアウトになっている。 ○青や緑など目に優しい色を多く使っていることやどの色も淡い色味になっている等、色に対する配慮がなされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○数学的に考え、表現するための学び方がはっきりと示してあり、生活や学習の基盤となる数学の基礎を築き上げることができる。また、アニメーションやシミュレーションなどのデジタルコンテンツが用意されていて、数学の楽しさやよさをしっかり感じられる。 	

理科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい科学	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領上の学習内容の変更点が明確になっており、丁寧に再構成されている。 ○定着度の低い内容では、問題や解説を充実させ、定着度を高めるようにつくられている。 ○章末の学習の整理では、用語と図が左右で関連付けてまとめられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的な探究活動のために、理科の見方や考え方を「科学のミカタ」で具体的に示している。 ○考察のステップを細かくし、生徒が自然に段階を踏んで考えられるようになっている。 ○結論を生徒自身に考えさせるだけでなく、章末に結論の例を設け、確認も可能である。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入で、生徒が自ら気付いたり、疑問に感じたりする問いを設け、主体性を高めている。 ○対話の具体例を示し、対話的な学びが進められるようになっている。 ○学習の中心となる問いを単元の冒頭に設け、章末でふり返ることで成長の自覚ができる。 <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が探究活動をイメージできるように、マンガの解説を巻頭に入れている。 ○学習方法を例示しており、教科書に沿うことで、主体的・対話的で深い学びが実践できる。 ○探究に重点を置く節を設けることで、資質・能力育成のための活動を充実させている。 <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容と日常生活をつなげるコラムを紹介し、興味・関心を喚起している。 ○節の終わりに、日常や社会に関わりのある課題を提示し、学びが深まるようにしている。 ○既習事項や他の教科と関連する本文に下線が引いてあり、ふり返りがしやすい。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が関心を持つような色鮮やかな写真が多い。また、図や写真も大きく見やすい。 ○QRコードが示されており、写真だけではなく動画等で学習をすることができる。 ○縦A4、横B5の為、大きく見やすい。縦に長い為、机上で横に広がらず扱いやすい。 	
表記○ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの指導時数の目安が1時間となっており、見通しを持って学習することができる。 ○グラフでは、線種や色を変えたり、線の意味を言葉で示したりするなど理解しやすい。 ○写真や図が多く、文章を読むのが苦手な生徒でもイメージを膨らませることができる。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○探究を重視しており、生徒の興味・関心を喚起できるよう、様々な工夫がなされている。 ○学び方を示しており、教科書を通じて探究型の学びを実践できる。 ○理科室の使い方や実験等の注意点が明確に示され、安全と安心への配慮がなされている。 	

理科調査資料研究調査報告書

書名 項目	理科の世界	4 大日本
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験の手順を番号で分けて記載し「コツ」として誰でも操作しやすいよう工夫されている。 ○計算問題では解き方が示されており、基礎知識を身につけるための工夫がされている。 ○単元の最後に「まとめ」「単元末問題」で基礎○基本を確かめられるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察の目的と着眼点が示されていることで、何を学ぶかが明確化されている。 ○「計画を立てよう」で課題解決に向け考えさせることで、科学的な探求を意識させている。 ○「やってみよう」「発展」には、追加実験等を示し、興味関心や探求する力を刺激している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真や「Science Press」は、印象的で学習内容にそった記事で興味関心を高めやすい。 ○単元末の「探究活動」では、学びをいかして主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○単元末には「読解力問題」が組み込まれており、科学的思考力・応用力を深められる。 <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元のはじめにある各章の紹介により、単元の見通しをもって学ぶことができる。 ○「課題、計画、実験、結果、考察、解説」の流れが徹底され、わかり易く記載されている。 ○「話し合おう」等の対話的活動を通して「深い学び」が実現できるように配慮されている。 <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳との関わりで「○○しよう」など主体的・対話的で深い学びになる工夫がされている。 ○巻頭や「professional」では理系の職業紹介がありキャリア教育との関連も図られている。 ○「くらしの中の理科」では学習と密接な記事を載せて、学びを広げ有用性を高めている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や図、文章はバランスよく配置されている。また写真の枚数も多く、参考となる。 ○説明には必ず挿絵や写真などが用いられ、視覚的に学ぶこともできるよう配慮されている。 ○B5サイズで扱いやすく、主体的に話し合うことができるよう、テーマを例示している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UD フォントが使用され、レイアウトも見やすいものになっている。 ○学年に応じて文字の大きさを変えており、発達段階に応じた表記となっている。 ○「各学年の重点項目」では三年間を通して生徒の発達段階に応じた学習を意識させている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭ページや単元の冒頭に学習意欲を喚起する理科に関連した職業紹介や写真がある。 ○AR 機能を使うことで授業中や自宅で、実験などの器具の使い方を復習できる。 ○「○○しよう」という導入により主体的・対話的で深い学びにつながる学習がしやすい。 	

理科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学校科学	11 学 図
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を細かく明記することで、目標が明確化し、ポイントが絞れる。 ○探究活動では、「気づき」から「考察」までの考えの道筋がつけられている。 ○実験の「結果」「考察」の例をイラストや図・写真で記載し、実験をしやすくしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小单元ごとに「見方、考え方」を記載し、課題が科学的な観点で見られるようにしている。 ○思考力を高める課題提示の工夫がある。 ○実験・観察での学習のフローチャートのページが多く、学習の進め方が明確である。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Can-Do List」では、「目標」と「何ができるようになったか」が具体的に示されている。 ○QRコードを使用して、学習の振り返りができる。 ○探究活動のはじめの「気づき」では、身近な現象の写真を掲載し、関心を高めている。 <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホワイトボードに準じるページがあり、対話をしながら学びの交換やまとめができる。 ○「問題発見」のページで身近な科学現象を示し、探究活動の充実を図っている。 ○キャラクターの対話をイラスト化し、対話的な課題解決活動が行いやすくしている。 <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びを日常にいかしたら」で、学習内容と日常生活を関連付けた問題演習がある。 ○探究では、身近な現象の写真提示から始め、日常生活の課題を解決するような工夫がある。 ○スポーツや自然との関わりの写真を多く掲載し、生活の中での現象と関連付けている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな写真を多用することで、興味関心を高め、学習効果の向上につなげている。 ○QRコードでICTを活用した授業実践や、生徒自身が自ら調べる工夫がなされている。 ○イラストの吹き出しが多く、対話的で深い学びに迫る工夫がなされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○重要語句が太字で記載され、基礎・基本の定着が図れるようにしている。 ○図や写真が多く、イメージを持って学習することができるようになっている。 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトが配慮されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○探究活動の充実をすることで、課題解決型の授業実践に向けての教科書作りになっている。 ○イラスト、吹き出し、QRコード等により、主体的で対話的な深い学びの実践ができる。 ○探究活動へつなげる課題発見があり、授業の導入時に関心を引き付ける工夫がある。 	

理科調査資料研究調査報告書

書名 項目	自然の探究 中学理科	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元毎に確認項目を多く持ち、基礎基本の定着ができるような工夫がなされている。 ○重要な用語の色や太さを変えることで、注目しやすい工夫がなされている。 ○課題の前後で同じ質問をすることで、自身のメタ認知を促している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○レポートの書き方を記載することで、生徒の表現力を多様化させる工夫がなされている。 ○「疑問から探究」する課題を通し、生徒が主体的に実験に取り組む手助けがなされている。 ○結果を表にまとめる実験では、表が例示されているため、誰でも結果にたどり着ける。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターの吹き出しを多く活用し、対話形式で学びに向かう姿勢を高めている。 ○コラムを活用し、歴史や発展的な関心を高め、深い学びにつなげる工夫がなされている。 ○既習事項を活かし、生徒が班活動を通じて主体的に学びに向かう姿勢を高めている。 <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「探究の進め方」を載せることで、深い学びを実現するための工夫がなされている。 ○「疑問・課題・仮説・実験・考察」と導入から結果までの構成が深い学びを高めている。 ○学習活動を充実させるために、安全や注意事項への配慮がなされている。 <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学的事象の写真を多く記載することで日常生活や社会とつなげる工夫がなされている。 ○各単元にある「活用しよう」から日常生活への活用ができるように構成されている。 ○小中間の連携だけではなく、「ハローサイエンス」では高校までの連携を行っている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末にあるモデルカード等により、現象を具体物として捉えやすい工夫がなされている。 ○単元の記載順番が学習内容のつながりを考慮した順番になっている。 ○ワイドな紙面を活用し、教育活動の導入に活用できる迫力ある写真を記載している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○側注を無くし、脚注に統一することで、上から順に読み進めることができる。 ○視点移動が少ないレイアウトなため、内容や学習箇所を捉えやすい工夫がある。 ○生徒の発達段階によって文字の大きさを変えるなど、読み手が読みやすい工夫がある。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○会話形式を多く取り入れることで、見方、考え方を養う工夫がなされている。 ○動機づけや考察など単元を学ぶ上での本質を求めた内容構成になっている。 ○「疑問を見つける」という、授業の流れをつかみやすい構成になっている。 	

理科調査資料研究調査報告書

書名 項目	未来へひろがるサイエンス	61 啓林館
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「実験のスキル」や「まとめ」にQRコードがついており、家庭でも復習しやすい。 ○「深めるラボ」や「基本のチェック」により知識を習得、深化させていく工夫がある。 ○つまづきやすい問題には「例」を用いて課題解決できるように配慮されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察実験における「計画」「仮説」により、思考力・判断力を育成しやすい工夫がある。 ○「表現してみよう」「話しあってみよう」等、表現力を育成しやすい工夫がある。 ○付箋を活用した学習や対話形式の問題など、近年の傾向に準じた工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「疑問」や「探Qクラブ」で、日常生活と問題や既習事項が自然と結びついている。 ○資料やICTを活用した自主学習の記載により、興味を引き出すような工夫がある。 ○単元の導入と結末に同じ課題が提示され、「自身の成長」を可視化しやすい工夫がある。 <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「探究の過程」が示されており、科学的に探究する活動の「学習計画」を立てやすい。 ○「探Qシート」や「みんなで探Qクラブ」により、自分の考えや仮説・計画を立てやすい。 ○「サイエンス資料」によりICTや他教科と関連づけ、より科学的な探究を充実させている。 <p><日常生活や他教科等との関連を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学ぶ前にトライ」によって、日常生活から疑問を見出し課題に繋げる工夫がされている。 ○「お仕事ラボ」や「ひろがる世界」で社会や身近な生活と関連づけている。 ○関連のある教科とその内容が具体的に明記され、小・中・高の繋がりを大切にしている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○観察や実験が1Pに概ねまとまっており区切りが良く見やすいように工夫されている。 ○QRコードが多くあり、学習効果を高めるため家庭学習や授業の補助として活用しやすい。 ○縦B5、横A4版により、写真や図が大きく見やすい工夫がされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDフォントが使用されていて、イラストと写真のバランスが良く、見やすい。 ○文字の大きさは発達段階に応じて見やすいよう工夫されている。 ○用語や単位は太字の黒で示し、太字でない漢字も難易度によりフリガナがついている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードにより、家庭でも復習しやすく、知識や技能が習得しやすい。 ○「探Qクラブ」「探Qシート」により、科学的に探究でき、興味関心が向上しやすい。 ○教科書名のように、他教科や高校で学ぶこと、社会との関連を重視した内容である。 	

音楽科（一般）調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学音楽 音楽のおくりもの	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○変声期についての説明が詳細に扱われており理解が深めやすい。 ○鑑賞曲についてポイントとなることのみでなく関連付けて捉えることができる工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年とも考えるべき観点が明確に示されていて音楽表現力育成のための工夫がなされている。 ○考えたり、話し合ったりしたことを記入する部分の発問や語句に、より思考を深めるための工夫がなされている。 ○鑑賞教材では言語活動に取り組みやすい工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱・鑑賞・創作ともに詳細な説明と気づきへの刺激を喚起するための工夫がなされており、物の見方や判断力を広げ豊かな感性を育成するための工夫がされている。 ○楽曲の分析を通して系統的に学習できるように配慮されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材の声域は発達段階を考慮した無理のない選曲である。 ○創作は「難しい」という印象に陥らない工夫がされている。 ○楽典の内容が充実している。 ○楽曲を通して共通事項を取り扱いやすい工夫がされている。 <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の共通教材に関わる資料は生徒の興味・関心を高める内容で楽曲や作曲家についての理解を深めるために役立つ内容となっている。 ○各種媒体や著作権について扱い、音楽文化への理解を促す内容となっている。 ○アウトリーチ、教育活動、音楽療法等について取り上げ、音楽の意味や価値について考えるための工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材の項に歌詞や楽曲、情景をイメージさせる写真が豊富である。 ○様々な楽器や音楽の説明が豊富な写真や図を用いて掲載されている。 	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○表現・鑑賞・創作の分野ごとに色分けされている。 ○字体・大きさも適切で写真や図の色味が美しい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学年が上がるにつれて、思考する上でのヒントとなる語句が少なくなっており、系統的な学習と発達段階に応じた内容が工夫されている。 ○「学びのユニット」では年間、3年間を見通した学習内容を関連付け表記されている。 ○デジタルコンテンツでは資料と共に楽曲などの音声資料が充実しており、個々の発展的な学習や教科横断的な学習にも対応した内容となっている。 	

音楽科（一般）調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学生の音楽	27 教 芸
内容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「指揮をしてみよう」では学年ごとに表現の幅を広げるための工夫がされている。また歌唱と鑑賞を相互の関連づけし、創意工夫のための解説がされている。 ○「My Voice」では、歌うポイントや変声期について触れられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「My Melody」では○を用いて音程を確認する表などを使い、段階を経て旋律づくりや記譜ができるようになっていて、楽譜の読み書きが困難な者にも作曲が平易に行える工夫がされている。 ○鑑賞教材では、注目すべきポイントが分かりやすく掲出されていてそれに沿い考えると学びが深まる工夫がされている。 ○鑑賞教材では言語活動に取り組みやすい工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱・鑑賞教材共に、楽曲の構成を考え、記述する箇所が多く、他者の意見を聞き合い、協力し合い、考える工夫がされている。 ○項目が統一され3年間を見通した系統的な学習できるように配慮されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「共通事項」の用語がピックアップされていて、用語ページへたどり着きやすい。 ○歌唱教材の声域は発達段階を考慮した無理のない選曲である。 ○歌唱教材では曲の構成が理解しやすい表を用いて創意工夫がしやすいようになっている。 ○音楽を形づくっている要素について一覧表・図が用いられ、教科横断的に学んだり、理解しやすい工夫がされている。 <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活の中での音楽の役割、音楽家が社会へ向けて発信している内容、音楽に関わる仕事や著作権などに触れ、生活の中には音楽が溢れていることを認識させる工夫がされている。 ○様々なジャンルの音楽が一覧になって曲が紹介されているため、幅広いジャンルの音楽への興味関心を喚起する工夫がされている。 ○郷土の音楽や日本の伝統音楽文化について手厚く扱われ、音楽文化を継承していくための心情の育成に対する工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭ページの音楽家からのメッセージは生徒たちの感性を刺激する内容となっている。 ○QRコードによるデジタルコンテンツは家庭学習などに活用でき、音楽の知識の習得、曲の背景について学ぶことができ、発展的な学習にも対応している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のページに写真と図が効果的に配置されており活用しやすい工夫がされている。 ○字体・大きさも適切で写真や図の色味が美しい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間で様々なジャンルの音楽に触れ、生徒たちが生涯にわたって音楽と親しんでいけるよう編集されている。 ○日本の伝統音楽や各地の郷土芸能について豊富な資料と共に扱われ、音楽文化への興味関心と理解、郷土愛を喚起するよう工夫されている。 ○日本や世界の音楽の学びを通して教科横断的な学習が進められるよう工夫がされている。 	

音楽科（器楽）調査資料研究調査報告書

書名 項目	<p>中学器楽 音楽のおくりもの</p>	<p>17 教 出</p>
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○楽器の名称や奏法が端的に示されている。 ○演奏時の姿勢や楽器の構え方について複数の角度からの写真を用いてわかりやすく表示されている。 ○段階に応じて必要な技術と知識が示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○類似する楽器の比較や、話し合い活動からグループごとの器楽合奏を独自に考え表現することができる工夫などがされている。 ○思いや意図をもって表現したり、工夫をするための配慮がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○授業に使用する楽器だけでなく、国内外の類似する楽器について紹介されている。それらを比較することにより幅広く音楽の特色を理解できる工夫がされている。 ○図を用いて正しい奏法を知り演奏に役立てられるよう工夫されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○音域や臨時記号の使い方について難易度を意識した配慮がされ、演奏しやすいものとなっている。 ○リコーダーの教材は、難易度別に複数曲示され、アルト・ソプラノ双方での演奏が可能となっている。また、運指について丁寧に標記され都度確認できるよう工夫されている。 ○リコーダーの教材に、簡単にハーモニーを味わいながらアンサンブルできる楽曲が取り上げられている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○楽器ごとに由来や成り立ちが端的に示され、楽曲と共に楽器や音楽文化について学ぶための工夫がされている。 ○「調べ学習」を通して調べたり話し合ったり、発表する中で言語活動が生まれ、器楽についてより深く学べる工夫がされている。</p>	
資料	<p>○図やリズムのパターンから演奏時に必要な技能を理解しやすいよう表現されている。 ○少しずつ「できる」ことが増えて達成感を味わうことができる構成となっている。 ○「まなびリンク」では、資料や楽曲・範奏がデジタルコンテンツとして利用できるようなっている。 ○ギターのコード表は写真を用いてわかりやすく標記されているとともに、鍵盤と併せてわかりやすく標記されている。</p>	
表記・表現	<p>○曲ごとに小目標が設定されており、目標に沿いながら学習が進めやすい。 ○和楽器の部分では五線譜と本来の楽器の譜表の両方が示され扱いやすい。</p>	
総括	<p>○基礎から発展的なものまで多くの楽曲が提示され、それぞれの技量や編成に応じて演奏を楽しむことができるよう工夫されている。 ○歌唱や鑑賞の活動内容とも連携が図れ、発達段階に応じた系統的な学習が行えるよう配慮されている。 ○資料が豊富で生涯学習にもつながる内容となっている。</p>	

音楽科（器楽）調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学生の器楽	27 教 芸
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽器の細かい名称や奏法が図からわかりやすく理解しやすい標記がされている。 ○基礎から少しずつステップを刻みながら楽器の奏法や技能を学べる工夫がされている。 ○演奏時の姿勢や楽器の構え方について複数の角度からの写真を用いてわかりやすく表示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アーティキュレーション等も図を用いて学ぶことにより曲にふさわしい演奏法を考え、表現に生かすことができる。 ○思いや意図をもって表現したり、工夫し、協働するための配慮がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○図を用いて正しい奏法を理解することができ、より本格的な学習ができるよう工夫されている。 ○様々な楽器の奏法が示されており、話し合い活動と併せてアンサンブル活動を充実させるよう配慮されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○音域に配慮がされ初心者でも取り組みやすい。段階に応じて必要な奏法や技術が提示され、発展的な学習にも対応している。 ○リコーダーの教材は、難易度別に複数曲示され、アルト・ソプラノ双方での演奏が可能となっている。また、運指についても都度標記され確認しやすいよう工夫されている。 ○リコーダーの教材に、簡単にハーモニーを味わい音楽が広がるものがある。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統音楽や各地の郷土芸能の学習と関連を持たせ、系統立てて学習が進められるよう工夫されている。 ○著名な音楽家などによるメッセージや様々な音楽活動が紹介されており、生活や社会の中の音や音楽とのかかわりを意識させる工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外の様々な同系列の楽器が表示され、生徒の興味関心が得やすく学びやすい配慮がされている。 ○大きな図やリズムパターンは必要な情報や奏法・技術を視覚的に取り入れることができるよう工夫されている。 ○様々な打楽器の奏法が図と共に示されており、活用しやすい。 ○QRコードが掲載されており学習資料としての活用や発展的な学習にも対応している。 	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○曲ごとに小目標が設定されており、目標に沿いながら学習が進めやすい。 ○和楽器の部分では五線譜と本来の楽器の譜表の両方が示され扱いやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○発展的な資料も充実しており、様々な演奏形態にアレンジしたり、個々の能力に応じた学習に対応できるよう配慮されている。 ○歌唱や鑑賞の活動内容とも連携が図れ、発達段階に応じた系統的な学習が行えるよう配慮されている。 ○資料が豊富で生涯学習にもつながる内容となっている。 	

美術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	美術	9 開隆堂
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○各題材に「学習のポイント」や「学習の目標」を提示し、その題材で何を学び、何を表現するのかを考えさせていて、創造的な表現につなげることができる。また、小学校「図工」から「美術」への学びのつながりを「学びの地図」にまとめ、中学校美術の学びへの導入に配慮がされている。</p> <p>○各題材のページに、「美術の用語」を配置して、専門的用語を知る機会となると共に、言語活動の一助とすることができる。またこれを解説することにより知識が身に付くことにつながる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各題材の図版の中に、作品の発想や構想を練る段階のヒントが示されている。(手の感覚)</p> <p>○紹介作品に「作者の言葉」を添えることで、作者の思いや考えから作品の見方・考え方を深められるように構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○美術が社会を豊かにする働きを持ち、歴史や文化の継承につながっていること、また、それを未来へ継承する視点で教科書が構成されている。</p> <p>○美術館についての扱いが充実していると同時に、美術で学んだ力が、どのように社会で生かされているのかについて触れられていて、生涯学習の視点がある。</p> <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <p>○特に「鑑賞」授業の資料が充実している。折り込みもページを使つての迫力のある作品鑑賞や部分を拡大しての解説、原寸大の表示などを工夫している。これにより生徒の気づきを大切に、学習における話題の広がりや工夫できる構成となっている。</p> <p>○身近な表現の数多くの作品を掲載して、表現のヒントとなる作品に出会える工夫がある。</p>	
資料	<p>○各巻末の「学びの資料」が制作の手順や作業・技法のポイント、安全への配慮等についてよくまとめられている。</p> <p>○QRコードの設定により、美術館等へリンクすることができる</p>	
表記・表現	<p>○色覚の個性に対応するユニバーサルデザインである。(識別しやすい色相環の工夫)</p> <p>○資料中の説明に使われる漢字に対して、中学校以上で学ぶ漢字全てに、「読み仮名」等のルビを振っている。</p> <p>○各題材に、他教科との関連や、学習する上で参考となるページを関連付けて紹介している。これにより学習者が主体的に学ぶ力を伸ばすことができる。</p>	
総括	<p>○作品を紹介する写真と説明文がバランスよく配置され、発想や制作の様子が分かりやすく紹介されている。また、「鑑賞」領域に力を入れ、拡大や実物大の表示を工夫している。</p> <p>○美術と社会、歴史的な価値と新しいリノベーションの視点など、美術の学びが将来にわたって価値あるものとなるように工夫された教科書である。</p>	

美術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	美術	38 光村
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各巻末に「学習を支える資料」のページを設け、制作のための材料と道具や作業の手順を紹介するなど、広範囲な参考資料となっている。 ○各題材のページに、作品づくりの途中経過の様子が段階的に載せられていて、制作過程をつかみやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が苦手とする、発想や構想のためのヒントが豊富で、生徒の目線に沿った写真掲載が工夫されている。 ○題材の内容によって紙の種類を変え、和紙やトレーシングペーパーなどの紙質の違う素材を挟むこむことで、手触りなどの感覚から学び、また「教科書に直接描きこむ」などの工夫がある。また、迫力のある見開きページを活かす「比較する工夫」により、美術文化の世界観に迫ることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞のページに「美術史ワード」として用語解説を掲載していることで、生涯学習への視点を持って指導ができる。 ○美術と日常生活とのつながりを、様々な題材で紹介することで、心豊かな生活を創造していく態度を養うことにつなげる工夫がある。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「美術1」では、美術鑑賞を楽しむ手掛かりや「鑑賞を広げる言葉」を載せ、言語活動の充実をねらいとする鑑賞授業が実践できる。 ○教科書独自の先生と生徒のキャラクターの登場や制作中の生徒の会話やつぶやきを吹き出して表記するなどの工夫で、素直な考え方や感想に生徒が共感しやすい。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○一つの題材の中で、表現方法が異なる作品を掲載して、考えの幅が広がるように工夫している。 ○各ページにあるQRコードから何を学べるのかを表記していて、これが生徒の関心意欲を高める効果がある。音声ガイドもあり、授業でも活用ができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に関する注意書きやコラムの表記には、地の色を変えて注目しやすく構成している。 ○各題材のページに「道徳科とのつながり」を表記して、指導者の指導の視点の広がり期待できる。他教科とのつながりにも触れている。 ○キャラクター等の「つぶやき」の表記は、文字のフォントを変えて印象強く対応している。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の流れに沿った教科書構成で、「鑑賞・表現・鑑賞」の流れを各題材で大事に取り扱っている（「感受・発想・構想・表現・鑑賞」の授業の流れがつかみやすい）教科書である ○教科書で紹介される参考作品が、海外の生徒作品を含めて、文化の多様性を感じ取り、生徒の感性を刺激するものである。これにより、主体的な学びへつなげることができる教書である。 	

美術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	美術	116 日 文
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各巻の「学びを支える資料」を、「鑑賞」「技法」「色彩」に細分化して丁寧に説明されていて、生徒の創作意欲に寄り添う内容となっている。 ○各題材に「造形的な視点」が示され、見る人に問いかけ、課題を考えるきっかけを与えている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味を引き出す導入の工夫として、魅力的な題材名（タイトル）の設定や材質の違う素材による作品を紹介することによって、生徒の豊かな発想を導き出すことができる。 ○作者の言葉を作品に添えて、作者がどのように主題を生み出し、構想を練っているのかを伝え、生徒にも考えるヒントを与えている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○著名人の言葉を「社会に生きる美術の力」や「インタビュー」「学びの言葉」として紹介するコーナーを設定。これが、生徒の感性を豊かに、生涯にわたって美術を愛好する心情の醸成へつなげることができる。 ○各学年の鑑賞の分野に、迫力と美しさのある図版を使い、見方や感じ方を広げ、「実感的理解」に重点を置いている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材に「学びの目標」をまとめ、題材ごとに身に付けさせたい3つの学びの目標を示している。 ○生徒に疑問を投げかけ、活動を促すような表現をとり入れることにより、言語活動が充実するように構成されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○QR コードは、立体が 360 度回転する機能や拡大・縮小ができ、様々な角度から立体を鑑賞できる工夫がある。 ○図版の見せ方に工夫がある。大胆な構図や背景色の工夫で、より鮮明な印象を与える資料となっていて、図版の色や高精細な解像度で実物の再現を感じることができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校から中学校への学びのつながりや発展をつかませて、美術への出会いを大事にする構成がある。各分野で何を学び、それがどのように将来につながるのかが述べられている。 ○教科書を3分冊にすることで、発達の特性を生かして授業が構成できるよう工夫されている。 ○道徳との関連や題材に関する情報、学習とつながる内容やページが、マークで分かりやすく表記されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○3分冊の強みを生かして、1冊で紹介する題材の数が豊富で、生徒に様々な制作経験をさせることができる。 ○日常生活と密接につながる内容が多く、美術が生活や社会でどのように使われているのかを学び、身近なものとして、実生活に役立てることに気づかせる教科書である。 	

体育科（保健体育） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい保健体育	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習課題」で身に付けさせたい知識・技能が明示され、課題解決に向けたアイコンでわかりやすい。ストレス対処や思春期の部分、現代の課題の内容が充実している。 ○デジタルコンテンツが充実し、技能習得しやすく、他の資料等も充実している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章初めに「？」でスタート、小単元に1つの発問が設けられ、また「広げる」「活用する」では発問が幅広く用意され思考を高める手立てや工夫がある。 ○学習の進め方が進めやすく、文章を読み取る前に資料分析で思考が高められる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「広げる」が実生活に当てはめており、考えやすく必要感を感じやすい。 ○「日常生活に生かそう」では身近な問題として学習意欲を喚起しやすく、自分の学びや今後に向けた意欲につなげやすい。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツが生活と切り離せないことを感じさせる、生徒の目や心を引く写真等が掲載されている。様々なスポーツを通じ豊かなスポーツライフを求めていく、実現を目指すヒントがあり、今日的な課題として自分で考える工夫ができる内容である。 ○人とのかかわり方が明確であり、つながりを示してある。例えばオリンピック・パラリンピックとどう関わって良いかが示されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○学びたくなる、活動を促す資料が多数用意されている。キャラクターにより解説や考え方が示されており、学習を深める工夫がある。 ○発展の資料充実、もっと知っておくと自分のためになる資料がある。「Dマークコンテンツ」が使いやすい、横断的指導のための具体的な資料（他教科の教科書）が特徴である 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○色合いの統一感、クリア感、キーワード解説は、1問1答形式で充実している。 ○見開きで中央部分に本文、周囲に解説や資料という形式で漢字のふりがな等も丁寧である。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとってわかりやすく表現されている教科書である。 ○「活用する」が中盤から後半に配置され、1時間1時間の授業構成も行いやすく、学んだことを生かす、生かそうとする仕組みがある。 ○性の多様性について取り上げられている。 	

体育科（保健体育） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学校保健体育	4 大日本
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「キーワード」がページの最後に載っており1時間の振り返りに利用できる。 ○まとめの問題は、WEBで確認問題がダウンロードできたり、また、心肺蘇生の手順は織り込みでわかりやすく作成されていて、途切れることなく学べる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話し合ってみよう」「活用して深めよう」で各資料を生かした問いから、得た知識からつながる問いとなり、考え、深めるという工夫ある授業に生かせる。 ○複数の資料を使って複雑に考えさせる仕組みがある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会の一員として、考えさせる、向かわせる場面が特徴である。例えば「地域の運動会を企画しよう」等、自分の生活や今後・将来に生かす仕掛けがある。 ○トピックスの写真は、道徳的にも効果的な指導に活用できる。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵は、「体育」に関するものが工夫・充実され、「体育編」にリンクできる工夫があり、実技本の一部が掲載されている。3年間で何を学び、健康・スポーツが将来につながる見通しが持てる構成がされている。 ○各小単元で「話し合ってみよう」で資料を参考に話し合いを進める工夫、「活用して深めよう」で実生活につながるような内容が多いのが特徴である。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○心肺蘇生法が具体的に掲載されており、イラストも多く、具体的な場面や対応を意識させる工夫がある。 ○見開きで左側に文字、右側に資料で統一感ある。トピックスが見やすく整理されており、毎回授業の中で様々な活用が可能である。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「ホーム」「地域」は、特徴的な表記、観点である。 ○注釈が着色されていないのが特徴で、ユニバーサルフォントを使用、カラーユニバーサルデザインにより配色が工夫されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容がわかりやすい学年構成になっている。 ○保健の内容では、3年間履修する「健康な生活と病気の予防」が最初に来ており、後半に各学年の学習内容が位置付けられている。 ○思考力、判断力、表現力等の育成するための工夫が多くみられ、生徒個々の意見を確かめる発問が多い。 	

体育科（保健体育） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	最新 中学校保健体育	50 大修館
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレスの対処が8頁にわたる掲載、相談機関・方法まである。AEDの使い方が詳しく取り上げられている。体育理論資料が多数掲載、参考書として良い。 ○学習のまとめの部分では、1時間の内容を文章にしたり、振り返りや知識の定着に有効である。章のまとめでは、知識・技能の確認テストができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題をつかむでは、考えやねらい・課題を引き出す質問がある。学習のまとめでは、話し合う場となり、答えを出さない討論内容であり思考面に活用できる。 ○web利用、ネットリンクで深い学びができ、また小中高の連携、他教科との関連が示されているのが特徴でもある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○特集資料の充実、科学的知識を発達段階に併せイラスト化され、特に免疫の仕組みでリンパ球を擬人化してわかりやすく関心を高めやすい。 ○「使い方」で「つかむ→身に付ける・考える→まとめる・振り返る」という順番構成で理解し、学びを深めていけるよう配慮されている。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育理論と体育実技の結び付く内容、体育分野と保健分野が学年区切りである。「関連」「他教科」というマークを活用でき、発展的な結びつきにつながる。 ○トップページ他、人との結びつき、スポーツや共生について豊富である。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○口絵で「生涯スポーツ」「スポーツの多様性」「SDGs」についてわかりやすく、人との結びつき、学びを広げる工夫がなされ今後の生き方につながる。図やイラストが立体的で見やすく、興味や理解しやすい工夫がある。 ○小学校で学習した内容を簡潔にまとめられ、系統性を意識した指導を工夫されている。用語解説が一覧となり、一問一答形式で検索しやすい工夫がある。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページにより表記構成され、真ん中に本文、開いた状態で学習を進めることができる。 ○資料部分が着色され、本文が目に入りやすくわかりやすい。また生徒にわかりやすい言葉で構成され、色やマークも学びやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストの描写、写真や資料、グラフも豊富で学びやすい教科書という印象である。 ○視覚的に生徒が理解しやすいイメージが持てる。 ○学習指導要領の配列に従い、体育理論→保健の順序である。 	

体育科（保健体育） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学保健体育	224 学 研
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いや実技など多様な学習形態や学び方から知識・技能の定着への工夫がなされている。 ○すべての項目で「まとめる・深める」または実習を設けている。また、「学習の目標」で身に付けたい知識・技能が明示されて、その習得へ利用が有効である。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の進め方の提示、1時間1時間の流れや学びがスムーズになる工夫「目標→課題をつかむ→考える・調べる→まとめる・深める」がなされている。 ○「見方・考え方」を考えさせる場面では、他者と自分の関係ではなく、自分の言動やこれまでの生活・言動から振り返る・考える構成もある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「がん」について特集的に取り上げられており、身近で今後の生活で考えるテーマや内容が掲載されている。 ○単元の内容に関わる職業や資格を紹介するなど、自分の将来への思いや考え・行動への意欲喚起・想起ができる。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○口絵やイラスト、専門家からのメッセージ等でスポーツや健康が身近でかつ大切なものとして考える等の意識・興味付けへの工夫がなされている。 ○オリンピック・パラリンピックはじめ、「見る」「支える」「行う」等の観点からの資料もあり、スポーツの力、健康な生活に向けての行動への工夫がある。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○章のはじめに、関連する「人」が挙げられ、導入に効果的である。イラスト・写真がこれからの学びにつながるように視覚的かつ思考的にも工夫されている。 ○参考にWebサイトへのリンク、「QRコード」でデジタルコンテンツとつながること、SDGsを取り上げるなど意欲的な学び、調べができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文、資料の配置が統一されており、またユニバーサルデザイン（フォントやカラー等）を感じ、注釈等も赤で示され、協働のマークで学習内容を終末で深める活動ができるように工夫を凝らしている。 ○情報サブリ表示がその学習、ポイントで調べ、深めるために大変有効である。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的、対話的で深い学びの学習展開ができる工夫、実現に向けた構成となり、学び方につながる。 ○学習課題を身近な課題としてとらえられる工夫が多い。（イラスト、資料、もっと広げる、深める） ○考え、伝える力に主眼を置いている。 	

技術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○それぞれの4つの編で、学習の見通しを持たせるためのガイダンスや1章から3章に分けられ、まとめられている。学習のまとめりに、「目標」「まとめ」「問題の発見」の場面が設けられている。工具の使用方法や作業手順などが「TECHLab」にまとめられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○全ての編で、最終章に学校や社会・地域の実態、普段の生活の中から問題を発見し、「問題解決カード」を示し、自主的に進められるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各編において、基礎的・基本的な事項が説明されている。実践的な活動から粘り強く取り組み、生徒が学ぶことの外郭を知ることができる。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○自分達の生活とリンクさせやすくし、社会や生活に必要な資質や技能習得の工夫をチェック欄を設けるなどされている。技術が人や社会、環境と関わりながら、生活や社会をよりよくするために発展し続けること、「地球環境や将来の世代のための技術」に示されている。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○社会での問題点に気づき、自分達が担う将来に向けて適切な技術を継承し、新たな発想に基づいて改良、応用したりするためのワークシート「未来のTechnology」が各編の最終章に示されている。</p>	
資料	<p>○各編のDマークを利用することによって、授業の展開を工夫したり、他教科や小学校とのリンクをICTを使うことによって確認しやすくなっている。</p> <p>○沢山の写真や図・イラストなどの資料が掲載されている。</p> <p>○キャラクターや様々なマーク・「技術の工夫」を設け興味を持って学習を深めたりできる。</p>	
表記・表現	<p>○教育漢字以外の漢字には全てふりがなが付いている。書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一されている。重要事項は太文字で表記されている。</p> <p>○新しい気づきや「技術の最適化」「技術の巧」など考える上で非常に効果的な表現である。</p>	
総括	<p>○とても丁寧にまとめられている。「目標」から「まとめよう」までがひとまとまりとして構成されている。失敗例や修正の仕方など見るだけで理解できるように工夫されている。また、書き込むことができる部分が沢山あり、教科書一冊で授業ができるようになっている。教科書を学校にまとめて置き、自分のものが分かるように、背表紙に名前が書けるようになっている。</p>	

技術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	NEW 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	6 教 図
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○それぞれの編において、各章に「めあて」「学ぶ」「ふり返る」「編末問題」「チェック欄」が設けられている。また、「つくって学ぶ」「じっくり学ぶ」「学びを深め生かす」の3つの柱で構成され、3観点に沿ってつくられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○教科書に記入することで、生徒が見通しを立てて問題解決を目指すことを見通している。最後にE編を設定し、「学んだ技術の組み合わせ」とあり学びの融合を理解し、将来へのつながりを考えられる内容になっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○現場の教員が考案したものを掲載し、製作例なども実態に応じており、生活で活用できるものとしているため、教科書からの学びを実現しやすくしている。インデックスも全ての編で統一され、3年間を统一的に学ぶことができる。</p> <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○ソサエティ5.0を特集し、社会の変化するであろう姿や生活と社会・環境の関わりを「プラス面・マイナス面」の見出しで、自らの問題として扱える資料を豊富に掲載し、未来を創造しやすい内容の工夫がある。</p> <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○もっと知ろうや技トビ（スゴ技）・伝統文化などについて写真などを使いまとめられている。また、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせることができるように配慮されている。</p>	
資料	<p>○教科書巻末のA編からD編までの設計や計画表を記入し、提出できる用紙が付録のように付いていることが、特徴的である。</p> <p>○ハンドブックで技能がまとめられ、多様な興味・関心に対応できるようになっている。</p> <p>○E編を独自に設け、学んだ内容から夢を叶える技術へと資料がまとめられている。</p>	
表記・表現	<p>○ユニバーサルフォントを使用しており、重要語句は青太字で表記されている。まとめ等を直接記入できる欄もあり、教科書の手順に沿えば完成できるように各工程を丁寧に解説し、学ぶべき基礎基本やポイントを併記している。</p> <p>○内容ごとの色分けした見出しで、各章の場所がわかりやすくなっている。</p>	
総括	<p>○生徒が見通しを立て、ふり返る活動を重視している。また、ハンドブックに必要なことが簡潔にまとめられている。QRコードで再生できる動画も「もう一度見たい」や「困ったときの手助け」として役立つ動画になっていた。紙質がよく、記入欄に生徒が書き込みやすい。</p>	

技術科調査資料研究調査報告書

書名 項目	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	9 開隆堂
内容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○学習のまとめりごとに「学習の目標」「展開」「振り返り」を設けて、学習の目標を明確にしたり学習したことを振り返ったりしながら学ぶようになっている。また、各内容ごとに見方・考え方を「社会の中の技術から気づく」、「はたらかせて問題を解決する」、「学習を振り返って定着させる」の構成になっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入課題を設けて生徒に問題意識を持たせ、自ら解決しようとする能力を養うようになっている。また、学んだことを活用して、トレードオフと最適化を検討し実践的な問題解決力が身につくようになっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各内容の最後に、社会や環境と技術とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用する態度を育むようになっている。 </p> <p> <技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○企業のものづくりの流れを、PDCAサイクルに関連づけて提示し、各内容の問題解決の流れと実習例において、PDCAを意識した構成になっていて、学習した内容が社会へとつながるようになっている。環境保全に関する記述部分は「環境」マークで示している。 </p> <p> <よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○各内容の最後に、今までの学習内容を振り返り、技術の役割や課題について考え、技術の見方・考え方に基づき、トレードオフを考慮して正しく評価し、将来の技術を考えることができるようになっている。 </p>	
資料	<p> ○多様な指導計画に対応できるよう、写真や図、イラストなどの資料を掲載している。様々なマークを用いて、学習を深めたり、関連を調べたり、ふり返ったり、新たな課題を考えたりする際に参考として使えるようになっている。 </p> <p> ○各ページ上下に「豆知識」や「工具」などの写真を用いて、興味を持って学習を深めたり、課題を考えたりできるようになっている。 </p> <p> ○QRコードが各ポイントにあり、関連した動画を見ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○内容ごとに色分けし、上部の爪見出しでその場所がわかるようになっている。また、他教科や小学校での学習との関わりをわかりやすく示している。 </p> <p> ○書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一されている。重要語句は太文字で表記されている。特別支援教育の観点から単語が途中で改行されないようになっている。 </p>	
総括	<p> ○学習内容ごとに、「技術の見方・考え方の気づき、基礎的・基本的な知識・技能」、「問題の発見と課題の設定、設計・製作、評価・改善」、「技術の評価、未来の技術」の順で系統的に構成されている。学習の流れを示し、生徒が見通しを立て、振り返る学習活動を重視している。 </p>	

家庭科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考えてみよう」では、自らの課題を見出しやすく、「いつも確かめよう」では、写真や絵入りで、基礎的な技能の定着が図れる。 ○「学習のまとめ」では、知識の定着として、確認テストに使える工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を見通すためのガイダンスとして、各編の導入では見方・考え方の意識づけを行うことで、課題を解決するための視点の定着を図っている。 ○「私のオリジナル」では、生徒の工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出しやすい。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章ごとに目標があり、学んだことを総括し、「プロに聞く！」では、対話的な学びができ、キャリア教育の視点で学びを振り返ることができるページの設置もあるため、学習と社会生活とのつながりが意識できる。 ○内容の最後に、学習の振り返りがよりよい生活の改善や展望を意図的に記録できるよう配置され、生活の課題と実践へとリンクされている。 ○「生活に生かそう」「まとめよう」、身近な話題の豆知識「せいかつメモ」で課題解決のヒントを記載してあり、よりよい生活を創ろうとする態度につながる。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生活の課題と実践の進め方」の事例が、発展的に提示されており、実践の方法や、振り返りの手段も細かく提案されていて、生徒の支援となる記述が多くある。 ○実習例が多く（調理：肉、魚、野菜の参考例）、手順説明の中にポイントが書かれている。「これだけは」で自己評価を行え、実践につながる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツの内容が厳選されており、巻末付録（防災手帳と、幼児視界体験は新鮮）は、授業に取り入れやすい。 ○資料マークで区分され、学習内容にそった資料（文章）が多く、巻末には「言葉のページ」など家庭科関係の内容が関連してまとめている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○食品だけでなく、他の内容にも実物大の資料が掲載されている。 ○実習手順図は、生徒の視線の流れで見開きページで横の記述で適切な配慮がされている ○資料やグラフを見やすくするため、他の文章やレイアウトの色は控えめに配色され工夫されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインフォント採用、総ルビ、分かち書き対応されている。 ○他教科とのつながりの説明が補足され、より具体的で、学習に広がりももてる。 ○SDGs 資料があり、介助の内容が厳選されている。 ○ガイダンスページが充実（4つの見方・考え方、小中の比較、前後のチェック表） 	

家庭科調査資料研究調査報告書

書名 項目	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	6 教 図
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見つめる」で目標を確かめ導入の工夫し、「学ぶ」で学習内容を習得し、「振り返り」で観点別評価し、定着の確認ができよう、学習の流れを繰り返す、見方・考え方を養い、さらに章末のまとめの「学習の振り返り」で定着を図る。 ○教科書上の欄「やってみよう」のページで主体的・対話的な学びが行いやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学的な根拠や、論理的な説明が多く、生徒が自ら考え、課題を解決するためのヒントが多く表示されており、「どうしてこうなったのかな？」など意図的に場面を設けている ○ガイダンスで課題解決学習の流れを説明しており、特に、「学びを生かそう」では、学習を生かして自分の課題に取り組ませるため、テーマを提示し、課題解決の流れを説明している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の最後に、必ず「センパイに聞こう」から生活に結びつための視点や学習の振り返りにつながる工夫がされ、対話的な学びができ、キャリア教育にもつながる。 ○節ごとに目標（めあて）があり身に付けた知識や技能を新しい課題のためのヒントとなるよう、課題設定のヒントし、今までの学習のページがまとまって表示されている。 ○SDGsのページが位置づけられている。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践的・体験的な内容がワークとして各ページに記載されている。 ○基本例だけでなく、失敗例や比較例の提示があり、生徒個人が工夫を加えることができるようなアレンジ例が「私のアレンジ」として示されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○視覚的資料、イラストや写真量、献立シールやQRコンテンツが付属されており、レイアウトに工夫されている。 ○写真や図の数が多く掲載され、実践的・体験的な場面では実寸大をイメージし活動しやすいよう図や写真は1つ1つが大きく、工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○新用語や重要語句が色付きで明記されているため目を引く工夫がされている。 ○評価の目安や、重要点や注意点などさまざまなマークが掲載され、重要な指導内容として取り上げていることが学び手からもわかりやすいように工夫されている。 ○安全のページ、マークと注意点などまとめられている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した内容で問題解決につながる提示の記事が豊富である。 ○学習した内容が世界で求められているメッセージもあり、生活に結びつきやすい。 ○巻末の付録シール、(昼食、間食、料理)暮らしの中のマーク、ラベルなどの資料がある。 ○ユニバーサルデザインを配慮し、色遣いや図の見やすさ等工夫されている。 	

家庭科調査資料研究調査報告書

書名 項目	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	9 開隆堂
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の内容や活動が明確で、「何を学ぶのか」「何を学んできたのか」「どのように学ぶのか（学習活動の内容）」「学習した内容の振り返り（評価）」など『見える化』を意識した内容により、基礎的・基本的な内容がとても厳選されている。 ○「小学校の学び」では、関連した小学校の既習内容が文章で書かれている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容のはじまりが、生徒の疑問や課題からスタートできるように工夫されていて、学習の終わりの振り返りもできるように設定されている。 ○表記されている学習の流れ≪主体的(自分の興味関心から始まる課題発見)→対話的(課題に取り組むための対話的な学習活動)→深い学び(学習のまとめや生活に生かすための振り返り)≫が統一して表記されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内容の最終ページにSDGs ページを位置付けられ、目標と関連して考える課題が設けられ、「持続可能な社会」を実現していく工夫がされている。 ○基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、生徒の思考の流れに沿って工夫されている。 ○無理なく具体化され、「先輩からのエール」は対話的な学びができ、時間軸でも将来を展望できるキャリア教育となる。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめりごとに、自己評価でき、実生活で活用しやすく設定されている。 ○調理手順の中で、なぜそれを行うかなどの「調理方法 Q&A」があり、倫理的事や生徒が疑問を持つ場面など、丁寧な回答で、実験例が多い。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコンテンツで動画が利用でき、家庭科における見方・考え方について説明のページが設置され、挿絵でのポイントや豆知識での生活の工夫の仕方等がある。 ○衣服着用の写真など、内容に応じた写真や資料が多い。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○実習手順が横に流れて表記されている。また、手順の流れに見出しがある。 ○科学的根拠の実験や課題「実験」マークや、安全マーク、注意点などわかりやすい。 ○原寸大の写真が多く、実感を伴った理解につなげやすい。(食品・お弁当など) 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○外国籍の子どもたちへの対応が可能(授業中に掲示するための資料が7か国語対応) ○デジタル教科書では、特別支援の視点でフォントもユニバーサルデザインフォントを採用し、漢字にふりがながふられる総ルビ表示機能も可能である。 ○安全教育の視点で、アレルギー物質を含む食品は、黄色いマークで食品を強調している。 ○視野が広く、他教科、分野とのつながりもあり、あらゆるニーズにこたえている。 	

外国語科（英語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	NEW HORIZON English Course	2 東 書
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元本文の前の「Preview」で音と映像で「目的・場面・状況」への気付きを促し、言語材料の導入をする。そして、「Mini Activity」（単元途中）→「Unit Activity」（単元末）→「Stage Activity」（学期末・年3回）という順で、系統的に技能を高めていく。 ○各単元で学んだことを活かしながら、Let's シリーズ（「Let's Listen」/「Let's Read」/「Let's Talk」/「Let's Write」）ではよりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばす。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2、3年生では読みを発信につなげる「3段階読み」で概要・詳細を理解・整理し、表現につなげている。また各単元・Let's シリーズ・「Stage Activity」の3つをもとに、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力を伸ばす構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学び方コーナーのページで生涯にわたり学び続けるための基盤を系統的に紹介したり、「Grammar for Communication」では文法解説があり、自学自習に役立てたりすることができる。また、SDGsの題材を積極的に取り入れ、地球市民としての心を育む話題など題材に工夫がある。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元では、目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら文法の学習をしていく。 ○「Stage Activity」では複数の技能・領域を統合的に活用し、自己表現を行う。また、3年間を通して、即興的に対話を続けるための課題を用意している。 ○取り扱っている場面は、日常でよく使う表現や、内容を推測できるものが多く、気づきから学びにつなげることで、自然と実際のコミュニケーション活動につなげている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○「Word Room」では語彙をジャンル別の補充単語・表現が分かりやすいようにイラスト付きで記載されている。 ○QRコードは「Preview」で映像（動画）と音声のみ、語句と本文は、教科書と同じ絵と英文を見ながら音声を聞くことができる。本文全文読みは、文字と音声のみである。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生の教科書は、文字が書きやすいように第2線と第3線の間幅をやや広げてあり、見やすくまがえにくいユニバーサルデザインフォントを使っている。 ○どの学年も新出単語の部分はわかりやすいように、地色を敷くことで本文と区別しやすい。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は小中接続を充実させ、小学校の音を中心とする学習から、各領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できる構成であり、2、3年生は「3段階読み」や、段階的に文章量を増やすことで、特に、リーディングの活動に力を入れている構成である。読み物も充実している。 	

外国語科（英語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	SUNSHINE ENGLISH COURSE	9 開隆堂
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年間のすべての単元において、厳選された2コママンガで新出表現を導入し、学習者が使用場面を理解しやすい工夫がされている。 ○各単元の構成は4つに分かれていて、それぞれ「Scene」（導入）「Think」（本文）「Retell」（復習と自分の言葉で話す活動）「Interact」（自分の考えをまとめて伝える活動）となっており、段階的に新出表現を身につけていくようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Scenes」ではマンガの続きを考えたり、吹き出しに自分の表現を書き入れ他の話を作ったりするなどして、表現の幅を広げる活動ができる。また、「Think」は読むだけではなく、様々な考えを巡らせ、次の活動「Retell」で自分の言葉で語らせる活動につながるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○登場人物が多様な人種であること、偉人の生き方から学ぶことやSDGsの題材を扱うことで、地球市民として豊かな心を育む学習も設定されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初のページに「Goal」、巻末には3年間を見通した「英語で『できるようになったこと』リスト」があり、明確な到達目標に向かって学習を進めることができる。 ○現在完了形が2学年に配当されることで、3学年ではさらに表現力を伸ばす時間や復習に充てることができ、基礎基本の定着や応用力を伸ばすことにつながる。 ○「Power up」では、アナウンスや道案内、メールのやりとりなど、英語を最も使用する場面が設定され、より実践的な力を伸ばすよう工夫されている。「Steps」や「Word Web」では語彙力を増やすための工夫があり、資料としても活用できる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○付録でさまざまな活動に使える「アクションカード」と巻末には各単元のまとめや学習に利用できる単語の表がついている。 ○各ページにQRコードがついており、家庭学習でも音声聞くことができる。QRコードを読み込むと「Scenes」のアニメーション（音声つき）、「Listen」の問題、「Think」の本文を視聴することができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルカラー・ユニバーサルデザインの使用をベースとし、写真が多用され、視覚からの情報で内容理解を助ける工夫がみられる。 ○小学校とのスムーズな接続ができるように、1年生前半は手書きのようなフォントを使用、4線は文字が書きやすいように2線と3線の間が広がっている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元はリスニングから始まり、即興で自己表現できるまで自然な流れで4技能5領域の力がつくような設定になっている。リテリング指導に力を入れた構成になっており、特に「即興力」の育成に重点を置いている。また、読み物教材は学年が上がるごとに語数が増え、読み応えのある物語が掲載されている。 	

外国語科(英語)調査資料研究調査報告書

書名 項目	NEW CROWN English Series	15 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">三省堂</div>
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新出の文型を示した「POINT」の内容が簡潔で、既習の文を対比して文構造を理解するよう工夫がなされ、さらに、「ぺんぎんのつぶやき」の掲載により生徒の自らの気づきを促している。 ○「for self study」では、学び方を整理する情報があり、生徒の知識習得への自立学習をサポートしている。また「文法のまとめ」で、ある程度の分量の文法事項のまとめを分かりやすく示しており、使用場面や英語のイメージをつかみやすいイラストの工夫がなされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「USE Write」「USE Speak」「USE Read」において、活動を助けるヒントが多く適切なメモ欄がある。またクラスやグループでの協働作業をとり入れることで、ライティングも対話的な学びとなっている。さらに「Reading for information」「Project」では、生徒のやる気を引き出す魅力的で楽しい内容、テーマ設定に工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化、平和、自然との共生など、深く考えさせる題材や、しっかりと自分に向き合わせる題材、さらに他教科と横断的な連携をとりやすい内容を選定している。また SDGs について考えを深めさせる視点もある。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「GET」の「Listen」では本文とは異なる場面のサイドストーリーを3段階（ゆっくり・ふう・はやい）の速度を選んで、生徒の実態に合わせて聞くことができる。 ○5領域のバランスがよい活動が段階的に計算されてプロジェクトに向けて組まれており、どの領域においても、メインとなるもの以外に他の領域を関連付け、複数領域が含まれている。 ○各単元のスタート時に、単元の扉に活動内容、活動目標が提示されており、見通しを持って各活動に入ることができる。また、興味関心を惹き付ける動画や写真を活用したイントロダクションにより、単元学習への高い動機付けが可能である。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末には、発信力を高めるインフォメーションギャップのロールプレイシートや聞き取れない部分がどこかを確認できる「Listen」の「Audio Script」が巻末についている。 ○QRコードで単語、本文の音声のほか、スピーキングのモデル動画、発音のアニメーション、本文コンテンツに関連する動画が視聴可能である。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生スタート時にはオリジナルの手書き文字書体を使用しており、生徒の混乱が少ない。 ○教科書のページ左上にある表示（GET,USE READ）が何を目的としたタスクであるかが一目瞭然である。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○5領域のバランスが良く、複数の領域を使用する段階的なタスクが多く用意されているので教科書だけで授業が完結する。活動には随所に多くのアドバイスやヒント、語彙リストがあり、教師にとっての教えやすさ、生徒にとっての使いやすさ(学習しやすさ)につながっている。 	

外国語科（英語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	ONE WORLD English Course	17 教出
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○巻末の「Activities Plus」に赤シートが付いている。授業の進度に合わせて帯の言語活動（インプット、アウトプット共に）で使いやすい工夫がなされている。 ○単元毎に「Can Do リスト」が設けられており、小刻みにふりかえることができる。また、「Tips」のコーナーでは5領域それぞれの技能を高めるためのコツが紹介されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各パートに「Think & Try!」が設けられている。必ず本文の内容に沿ったもので、本文の内容をさらに広げ、自分なりの考えを述べられるようになっていく。単元の「Project」ではその単元の既習事項を活用し、5領域を統合した言語活動ができるようになっていく。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「How To Study」では家庭学習の効果的な方法を先輩の体験談を生かして紹介している。また、様々な国の文化はもちろん、自国のことを外国人に紹介することができるような話題が多く取り上げられている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫> ○1年生の最初で疑問詞を使った疑問文を取り扱う。最初からやりとりを含む表現活動の幅が広げやすい。 ○巻末「Activities Plus」の「Speaking for Topics」は本文で取り扱った話題と関連づけられている。また、生徒にとって身近な話題を多くとりあげているので、容易に授業で取り扱うことができる。 ○単元末の「Task」では、学んだ言語材料を用いて5領域の統合的な活動を行うことで新出文法と関連付けられるような構成となっている。</p>	
資料	<p>○QRコードで本文と「Activities Plus」の音読を聴くことができる。（映像や文字はない。）「Read Aloud」という欄で本文の音読練習をした回数が記録できる。自学自習できるような工夫されている。 ○巻末に指定の単元で使うことのできる切り取りのカードが付いている。指定以外の単元で応用することも可能である。</p>	
表記・表現	<p>○1年生前半はUDフォントが用いられていて、書くための指導がしやすい。また、発音記号を使わずに、単語に直接アクセントを付記している。 ○文法事項の取り扱いではbe動詞・一般動詞という表現を1年生の前半に使わないので、小学校の指導と差がなくできる。（「何は何だ・どんなだ」「何は～する」と区別している。）</p>	
総括	<p>○各単元で学んだことを巻末の「Activities Plus」で確認・定着させ、「Project」においてさらに5領域をバランスよく使って自己表現ができる構成になっている。自分の考えをメモする欄などが無いので、即興で表現することができ、実際の使用場面に近い。</p>	

外国語科（英語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	Here We Go! ENGLISH COURSE	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光村</div>
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元は、3～4つの「Part」で構成され、「Listen」「Speak」「Write」の活動後に基本文を扱い、新出文法を確認・整理することができる。 ○帯教材として「Story Retelling」や「Let's Talk」という即興で話す力や会話を続ける力を養う活動を設定している。「Active Words」でカテゴリーごとに語彙を整理し言語活動に関連させて語彙を習得、活用する工夫が見られる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元最終ページの「Goal」で、習得した内容や5領域を統合した言語活動(日記を書く、身近な事柄についてスピーチする等)を扱い、各学期末には「You Can Do It!」で、生徒が興味を持って取り組めるタスク型の活動を設定している。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元本文は、登場人物の交流と成長の物語を3年間ひと続きのストーリー構成とし、身近な話題から社会へ視野を広げ、社会の様々な問題について考えを深めるよう発達段階に配慮されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学んだ表現を活用する際、コミュニケーションの目的や場面を明示し、単元の「Goal」や「You Can Do It!」で理解したことを表現につなげる言語活動を設定している。 ○各「Part」ごとに「Listen」「Speak」「Write」で各技能の力を育成できる。 ○その他各領域に特化した小教材や帯教材でコミュニケーションに活用できる。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○付録教材として、巻頭に「英語の学び方ガイド」、「Your Coach」では技能別学び方のコツを、発展的読み物教材には「Let's Read More」、巻末に英語のしくみと「CAN-DO List」がある。 ○教科書連動コンテンツ（QRコード読み取りによる音声・映像資料）があり、各単元始めには、単元全体のアニメーション（対話場面と音声）、「Your Coach」に実写の映像がある。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生初期は独自の手書き体を使用し、その後、ブロック体、セリフ体を併用しており、1年生においては、アクセントは各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載している。 ○2、3年生は、アクセント、発音記号が青色で併記されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の各「Part」の本文で学習すべき言語材料を提示して5領域のバランスや活動の一貫性がある。言語活動にあたってはコミュニケーションの目的や場面を明示するとともに、学習者が興味を引く様々な題材と言語習得理論に沿った構成で取り組みやすさの工夫が見られる。また実践的な英語力育成と即興力を育てるための小教材や帯教材、付録教材が充実している。 	

外国語科（英語） 調査資料研究調査報告書

書名 項目	BLUE SKY	61 啓林館
内容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の「Practice」では、個人で取り組めるモノローグの発話練習を行い、「Use」では、練習した内容を応用する発信活動を行う仕組みになっている。 ○各「Part」において、基本となるインプット(読む・聞く)から応用となるアウトプット(話す・書く)へ段階を追って進みやすい構成となっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Read and Think」で各単元のテーマについて英語で理解を深めて、「Express Yourself」でそのテーマについて自己表現する機会がある。学期末の「Project」では、単元の既習事項をもとに、長めの英語で発信活動を行う構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国文化、日本文化、地域社会、生き方、現代社会、平和、自然、他教科、物語などの幅広い話題について取り上げ、SDGs に対応した内容も多く取り扱っており、題材を通じて、他者を尊重する気持ちや人間性を育むための構成となっている。「Part」ごとに細かく学習の目標が設定されていて、見通しを持って取り組みやすく、生徒の学びに向かう気持ちを引き出している。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の扉に細かな目標が示されている。巻末には領域ごとの「Can-Do リスト」が示されており、3年間の見通しを持てるように工夫されている。 ○各単元では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の活動がバランスよく取り入れられており、「話すこと [やり取り]」については、高校でのディスカッションや長文のライティングを意識した「Further Study」で設定されている。 ○各単元にある「Let's Talk」では会話表現に、学期ごとの「Let's Listen」では身近な場面での聞き取りに、学年末の「Let's Read」では様々なテーマの英文の読み取りに取り組むことで、「話す」「聞く」「読む」の各技能について定期的に集中して学習する機会を設けている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の発信活動に特化した「Word Box」は、様々な場面に応じた表現が学習できる。 ○QR コンテンツから、各単元の新出語句と本文を読んだり、音声を聞いたりすることができる。各学年の教科書の表紙から一覧を操作できるシンプルな構成となっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生は文字に慣れるために、UD フォント、2年生はブロック体と活字体の併用、3年生は活字体を使用している。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年構成が同じであり、学習の流れが統一されている。さらに発達段階に応じた内容および難易度に設定されているため、集中して学習に取り組みやすく、3年生ではディスカッションや長文のライティング活動があり、小中高の接続が意識されている。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新訂 新しい道徳	2 東書
内容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材末の考えさせる視点において、その教材の中心発問を「①考えよう」で考えた後に、自己を振り返るための「②自分を見つめよう」という問いが設定されている。 ○多面的・多角的に考えられるように、新聞記事や投書などを取り上げる際も、さまざまな意見を掲載している。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生命尊重」と「いじめ問題」をユニット化してあり、それぞれ3つの教材（3時間分）を通して、1つのテーマについて学習できるように構成されている。 ○生命倫理や児童労働問題について考える教材を3年生に設定している。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「よりよく生きる喜び」について、3学年分で合計7教材が配当されている。 ○各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるよう配慮され、考える視点も学年ごとに変化させている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れを詳しく示した問題解決的な学習の教材を2時間扱いで配置し、問題提起から解決を図る流れの中で道徳的価値について考えることができるようになっている。 ○グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」というページに配置し、役割演技などの体験的な学習ができるような工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○より活発的な話し合いをするために、巻末付録に心情円やホワイトボード用紙が付属されている。また、どの教材でそれらを用いやすいかが明示されている。 ○自然を扱う教材において、臨場感のある写真が用いられている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○注釈が少なく、全体的に読みやすい文章で書かれている。また、各教材末の「考えよう」と「見つめよう」の表記が、読みやすいように区切りの良い読点での改行になっている。 ○教材名と内容項目が目次に明記され、各教材の冒頭に記されている題名が内容項目ごとに色分けされている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動を促すために、巻頭に「話し合いの手引き」が見開きページで配置されている。このページを開きながら学習することで、毎時間参照しながら授業が進められるような工夫がされている。 ○自分の抱いた考えや心情をメモする箇所が、教科書内に設けられている。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学道徳 とびだそう未来へ	17 教出
内容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○タイトルの下に今までの経験や今の考えを聞く内容項目に迫る質問がある。 ○導入の後に自分と絡めるなど、3つの発問で学習の流れを作る工夫がされている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年に「いじめに立ち向かう君に」と「いのち」に関わる内容を配置し、今日的な課題に正対した内容になっている。 ○フードロスや選挙についてなどの現代的な課題を扱っている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「よりよく生きる喜び」について3学年分で合計5教材が配当されている。 ○生徒の発達段階に合わせて、学年が上がることに「1年生：自分について」「2年生：自然や社会について」「3年生：世界について」と考えさせる内容が広がっていくような教材が多く設定されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材末の「学びの道しるべ」には自分の考えを基に話し合い、考えを交流できる問いが設けられており、言語活動が充実するように工夫している。 ○異なる立場からの考えを取り上げた教材や登場人物判断を迫られる場面が中心となる教材など、問題解決的な学習に適したものや、「やってみよう」では役割演技を取り入れられるなど道徳的行為に関する体験的な学習に適した教材も掲載されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○色やフォントなどユニバーサルデザインが採用されている。また、学習指導要領の4つの視点が色分けやイラストで一目でわかるような工夫が見られる。 ○デジタルコンテンツ(動画、音声 CD、ワークシート等)など、授業の助けとなる工夫がある。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○行の終わりごとに点(、)がついていて、行数が数えやすい。補足説明には写真が掲載されていて目で見てわかりやすい。振り仮名がついている。 ○タイトルと道徳の22項目がマッチしている表が巻末にあり、一目でわかる。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年に巻末資料として、都道府県別の「ゆかりのある人物とその言葉」や「道徳の学びを、記録しよう」、さらに各学期末、学年末に「道徳の学びを振り返ろう」が添付されている。 ○学習に役立つ関連情報サイトのQRコードがあり、タブレットなどでアクセスすることができる。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「かんがえよう」（めあて）、「見方を変えて」（役割演技）、「深めたいむ」（話し合い等）、「つなげよう」（日常生活、他教科との関連）などの問いでそれぞれの活動が継続して行えるようになっている。 ○教材末尾に「つなげよう」が設けられ、日常生活や他教科との関連、関連図書の紹介などが示されており、学んだ道徳的諸価値が他教科や日常生活につながるように配慮されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ」と「情報モラル」を全学年共通の内容として扱っている。 ○クラス内の人間関係が形成される5～6月に「いじめを許さない心について考える」というユニットが設けられている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年を通して、巻頭と各シーズンのとびらに、生徒と同じように思春期を生きる語り手の気持ちが描かれた詩が掲載されている。 ○同じ内容項目を扱う教材は、生徒の発達段階に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年ごとに傾斜をつけた配当になっている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材末のてびき「考えよう」や「深めたいむ」など、教材を通して学んだことを確かめると同時に自分のこととして考えたり話し合ったりするための発問が用意されている。 ○各学年の第1教材に「道徳の授業を始めよう」を設定し、学年の段階に応じて目的意識を持ちながら授業に取り組めるよう工夫されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○実在する人物、物、場所などについては、写真が多く使われており、情景や場面が想像しやすい。 ○QRコードからアクセス可能なデジタルコンテンツが豊富である。写真、動画、朗読、ワークシート、デジタル教科書等。ヨシタケシンスケや、田中真弓など、中学生が興味を持ちやすそうな人を起用しているものが含まれている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○目次と各資料のタイトルに、道徳科の内容項目との関係が明記されている。また、色分けとマークも使用している。 ○カラーユニバーサルデザインへの配慮、およびUDフォントの使用がある。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年を通し、「シーズン1～3」という区切りを設け、各時期に適切な内容構成になっている。 ○各学年の始めに「道徳の授業を始めよう」というオリエンテーション用の資料が、また、巻末には、1年間の授業を振り返る「学びの記録」がある。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	116 日 文
内容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「社会に開かれた教育課程」の実現のために、「社会への参画」や「将来の生き方」に関する教材やコラムが意図的に組み込まれている。 ○いじめについて多面的、多角的に考えられる教材とコラムがセットになっている。さらに、いじめが発生しやすい時期を想定して配置がされている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題である「安全に生きる」（交通安全・減災・防災）、「情報モラル」（インターネット）を身近な題材で全学年に設けており、考え続ける意欲や態度を育成する工夫がある。 ○マンガや写真を活用した視覚的にわかりやすい構成や、ロールプレイングや付箋を利用した授業の展開が用意されており、問題意識をもって多面的・多角的に考える工夫がある。 <p>＜発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達段階や、学校の年間行事を踏まえ、適切な時期に教材が配置されている。 ○先人たちや、今を生きる人たちの様々な生き方を取り上げて、それぞれの苦悩や努力から誇りある生き方についての考えを深める工夫がある。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題解決的な学習に適した教材には「学習の進め方」が設定され、主体的に問題をつかみ、対話的に学習できるように工夫されている。 ○効果的な議論の方法が「学習の進め方」「参考資料」などで示されている。また、議論しやすいように、友達の意見や話し合いをメモできる欄が道徳ノートに用意されている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザイン（カラー、フォント）が施されている。 ○デジタルコンテンツ（紙面、場面絵、ワークシート、音読CD）が充実している。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校までの漢字を使用し、学ぶ漢字や固有名詞などには全て振り仮名をつけ、読みやすい工夫がなされている。補足説明の場所を、▼印で対応させて、見つけやすくしている。 ○タイトル上部に4つの視点を色と形で見分けられ、そのすぐ下に視点に迫るねらいが表示されている。目次に視点が入っている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊の「道徳ノート」が巻末に用意されており、全教材に対応した「自分にプラスワン」という自由記述欄が用意されている。また、授業の振り返りが視覚的にわかる記入欄が用意されている。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	新・中学生の道徳 明日への扉	224 学 研
内容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の前に主題目を示さないことで価値観を押し付けず、自らの気づきや考えを促す。教材へいざなうキーフレーズ（意欲的に考えたいくなるフレーズを厳選）がある。 ○内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えさせることができるように、ユニット教材となっている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○『考えよう』で、話し合う柱や発問が掲示されている。 ○『深めよう』では、「見つける」、「考える」、「話し合う」、「生き方につながる」といった、流れのあるワークシートが加えられている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○長く評価された確かな教材や今を生きる人たちの教材により、感動や共感からつなげたり、身近な出来事に関心をもったりして、自己を見つめることができる。 ○タイトルの途中のなげかけが、学年が上がるにつれて、答えが見えやすくなっている。「よりよく生きる喜び」は本書の重点項目の1つとして設定している。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○『考えよう』での思いや気づきを記入できるメモ欄、教材中の問いに対して書き込みなど、話し合いや記述などの言語活動を積極的に取り入れている。 ○問題解決的な授業の流れを提案し、生徒が主体的に取り組めるような工夫がされている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○4つの視点は、4つのアイコンで視覚的に認識できるようにしている。 ○デジタルコンテンツ（紙面、動画、場面絵、ワークシート、音読CD）があり、より授業がしやすい工夫がされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○AB判でゆとりをもって見られ、漢字の学習状況に関わらず、振り仮名がついている。 ○4つの視点の色分けで教材の関係性が分かる。目次にも22項目が色付きで分けられている。『考えよう』の考えるきっかけがあり、より深めることができる。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年2ページ目に、「道徳で学ぶこと・考えること」という道徳の学習についてオリエンテーションのページがあり、効率的に授業が行えるような工夫がされている。 ○巻末には「学びの記録」が設けられており、生徒一人一人が書き込むことで、学びの足跡を作り上げることができるような工夫が見られる。 	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	中学生の道徳 中学生の道徳ノート	232 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">廣あかつき</div>
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○めあてと教材について考える発問、自己・社会・価値について考える発問が記載されており、生徒が学習の見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。 ○道徳ノートには22の内容項目について一つ一つ詳しく記載されており、写真やグラフなどの資料が添付されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○教材の後に、毎回その内容項目に関連した著名人の名言が紹介されている。 ○全学年巻末にいじめや情報モラル、持続可能な社会などの現代的課題についての特集が組まれている。 </p> <p> <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○「よりよく生きる喜び」について、各学年において3教材、合計9教材が配当されている。 ○先人や著名人の努力や苦悩、幼少期の体験などから、生徒が人物を身近に感じ「人間として生きることの素晴らしさ」を感じ取れるように配慮している。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○道徳ノートの学習の記録は左右2段で構成されており、自分の考えを書き込んだり他人の考えを書きとめたりできるようになっている。 ○具体的な道徳的行為の場面を想起させ追体験させる問いや、役割演技など体験的な学習を取り入れている。また、話し合いを通じて課題追求をしたり自分なりに発展させていく課題解決的な学習を促す問いを取り入れている。 </p>	
資料	<p> ○カラーのAB版で、ユニバーサルデザインで構成されている。 ○動画や場面絵など、デジタルコンテンツが豊富に用意されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○1年生と2・3年生で文字の大きさを変えている。配当漢字及び未習の漢字は全てに振り仮名が振られている。(固有名詞は初出のみ) ○道徳の内容項目は4種類に色分けしてあり、教材番号の色とタイトル下の点の数で区別している。巻末には教材を22項目に分けた表があり、他教科との関連も明記している。 </p>	
総括	<p> ○巻末に道徳ノートが収納されており、生徒が各自で書き込むことのできる豊富な分量が整っている。 ○学年ごとに教科書のタイトルが設定されており、道徳の授業における各学年で期待される生徒の姿が一目でわかるようになっている。また、学年ごとのタイトルに迫る学びのオリエンテーションが2ページ目にあり、スムーズに学びに入ることのできる工夫がみられる。 </p>	

道徳科調査資料研究調査報告書

書名 項目	道徳中学	233 日 科
内容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○異文化へ目を向け、違いを理解し合い、伝統と文化、他国を尊重する心を育む題材に力を入れている。 ○生徒が自然と考え、議論する道徳授業が展開できるような教材ごとの問いに工夫が見て取れる。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代の生活に密接にかかわっている。LineなどのSNSをテーマにした題材を取り上げ、生徒に関心を持たせやすい内容となっている。 ○多様性をテーマにできる、人によってももの見方や考え方、捉え方が違っていることを考えさせる教材が用意されている。 <p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「よりよく生きる喜び」について、3学年分で合計8教材を取り扱っている。 ○生徒の発達段階に合わせて、学年が上がるにつれ、系統的に「自分や家族→人と友人→自然」と視点や考える範囲が広がっていく構成となっている。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○答えが1つでない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分の課題としてとらえ、考え、議論することができるような教材の工夫が見て取れる。 ○「考えてみよう」「話してみよう」では、問題解決的な学習を取り入れている。また、教材に役割演技などの道徳行為に関する体験的な学習を取り入れている。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○色やフォントなど、ユニバーサルデザインで構成されている。また、学習指導要領の4つの視点が一目でわかるアイコンが配置されている。 ○音読CDなどのデジタルコンテンツが豊富に用意されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文と「考えよう」の箇所のフォントを変え、強調色を出している。 ○本文の随所でルビが振られており、全ての生徒がより良く参加する授業への配慮が見られる。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○配列が学習指導要領の4つの視点ごとになっており、視点を中心にまとめられている。 ○4～6ページには、「道徳って何を学ぶの?」、「教科書の使い方」があり、年度当初にスムーズに学びに入ることはもちろん、年度途中で原点に立ち返ることもできる工夫が見られる。 	